

**船橋市 交通ビッグデータ見える化協議会
第16回会議
交通円滑化・交通安全対策部会検討結果
(交通安全対策)**

令和7年（2025年）12月

船橋市

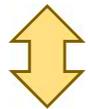
No	項目
1	メンバーと部会の実施結果
2	交通安全対策箇所の選定結果
3	豊富地区の検討結果
4	夏見台地区の検討結果

1. メンバーと部会の実施結果

部会メンバー

道路安全診断（第三者による検討）を実施

委員	
学識経験者	
国土交通省	千葉国道事務所 計画課
	千葉国道事務所 交通対策課
千葉県	県土整備部 道路計画課
	葛南土木事務所 道路建設課
	葛南土木事務所 維持課
	警察本部 交通規制課（規制担当）
	警察本部 交通規制課（信号担当）
	船橋警察署 交通課
船橋市	船橋東警察署 交通課
	道路部 道路建設課



道路安全診断

学識経験者・道路安全専門家・ 交通工学専門家	2名
道路設計技術者※)	1名

部会の開催状況

検討エリア：2エリア（豊富地区・夏見台地区）

第1回

【現地視察：9/17】

■ 現地視察（2エリア：豊富地区・夏見台地区）

【現地視察】



第2回

【室内会議：10/1】

■ 対策コンセプト・メニューの立案
■ 対策を具体化する際の留意点

【室内会議】



第3回

【書面：11/7】

■ 対策内容の承認

【室内会議】



※) 交通工学研究会認定（TOE・TOP取得）あるいは同等の資格保有者

2. 交通安全対策エリアの選定

(1) 交通安全対策エリアの選定方法

【対策エリアの選定方法】

STEP ①：選定指標の設定・加点

場所把握の容易さやデータ整備状況を踏まえて、町丁目単位として評価する。

【評価指標】

①人口

- ・総人口：上位30位内 [1点]
- ・人口密度：上位30位内 [1点]
市平均の2倍以上 [1点]
- ・子供の割合：市平均以上 [1点]
- ・高齢化率：市平均以上 [1点]

②死傷事故（人身事故）

- ・全道路での件数：上位30位内 [1点]
- ・市道での件数：上位30位内 [1点]
- ・全道路での事故率：上位30位内 [1点]
- ・市道での事故率：上位30位内 [1点]
市平均の500倍以上 [1点]
- ・市道事故の割合：市平均以上 [1点]

③急減速挙動（ETC2.0データ前後加速度-0.3G以下）

- ・市道での件数：上位30位内 [1点]
- ・市道での事故率：上位30位内 [1点]

④対策要望

- ・ゾーン30、ゾーン30プラス指定エリア：未対策[3点]
(予定エリアも含む)
- ・地域・警察要望：5件以上[5点]、2件以上[3点]
1件[1点]

STEP ②：対策優先度検討

評価指標①～④の各得点による総合評価での優先順位を検討し、上位に位置付けられたエリアを対策候補エリアとして選定

STEP ③：既存整備状況・計画等の確認

対策整備済あるいは計画策定済エリア等は除外

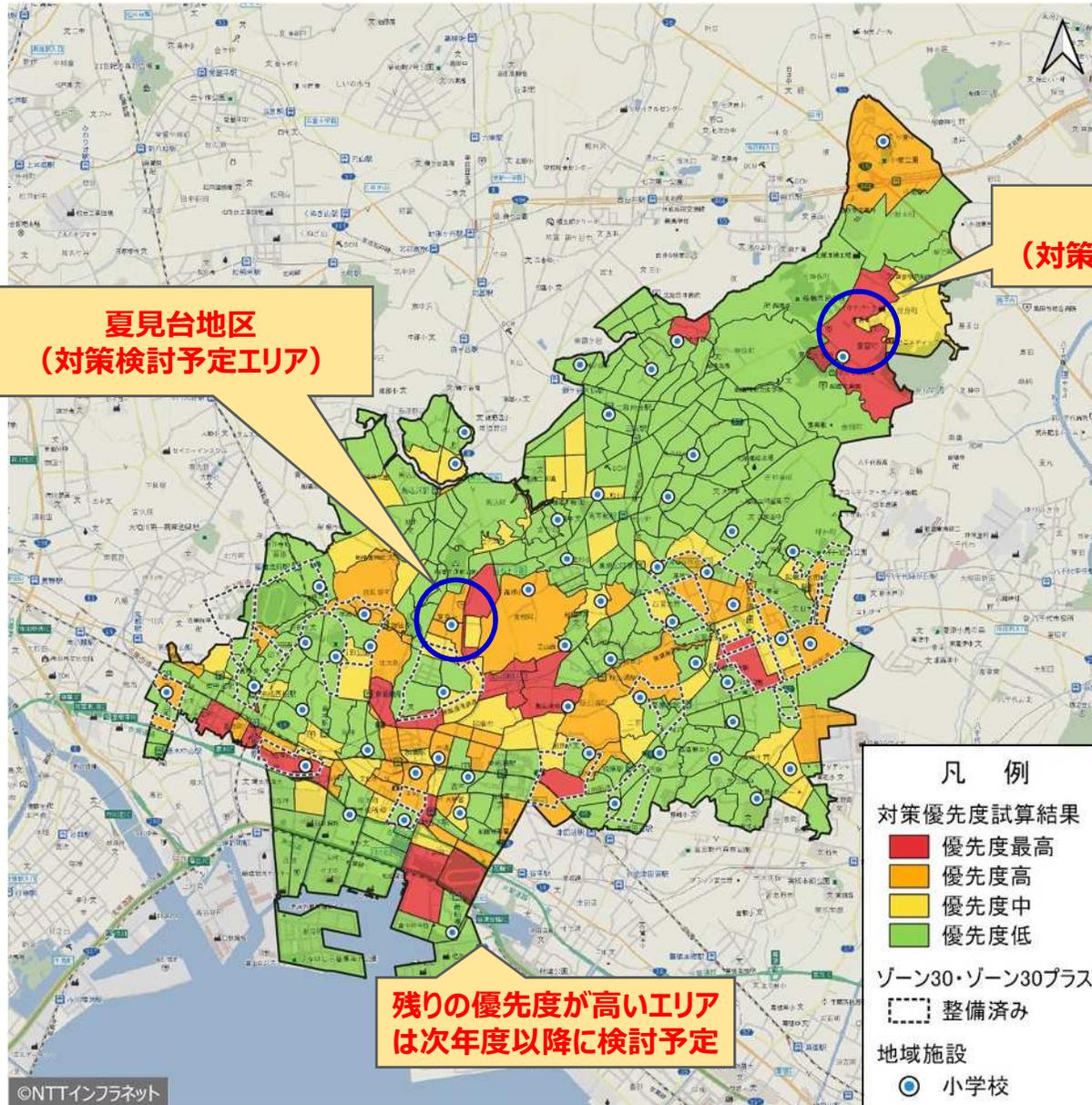
STEP ④：対策エリア決定&近隣エリア統合

隣接エリアの状況に応じてエリア統合して箇所を選定

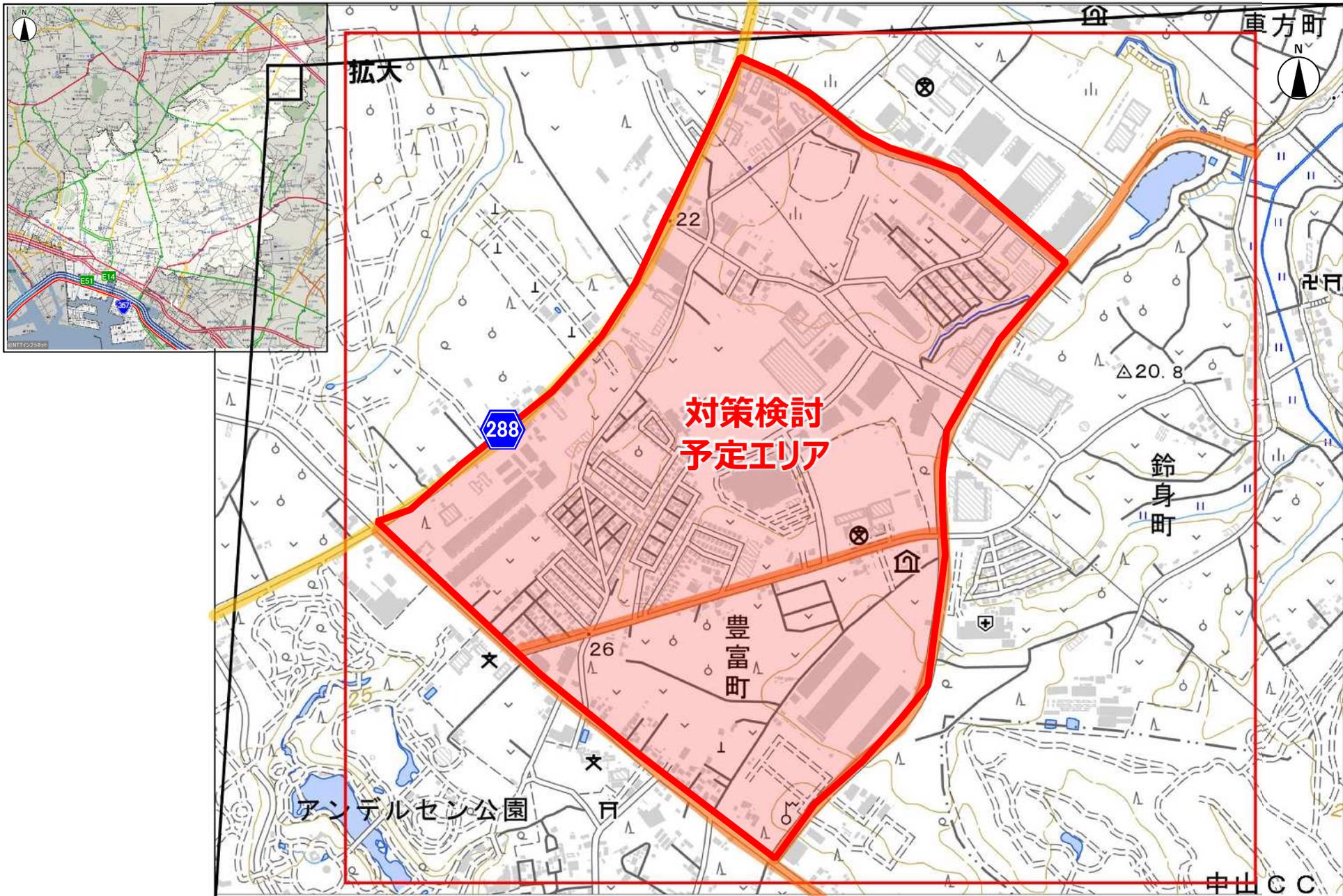
2. 交通安全対策エリアの選定

(2) 交通安全対策エリアの選定結果

【対策エリアの選定結果】



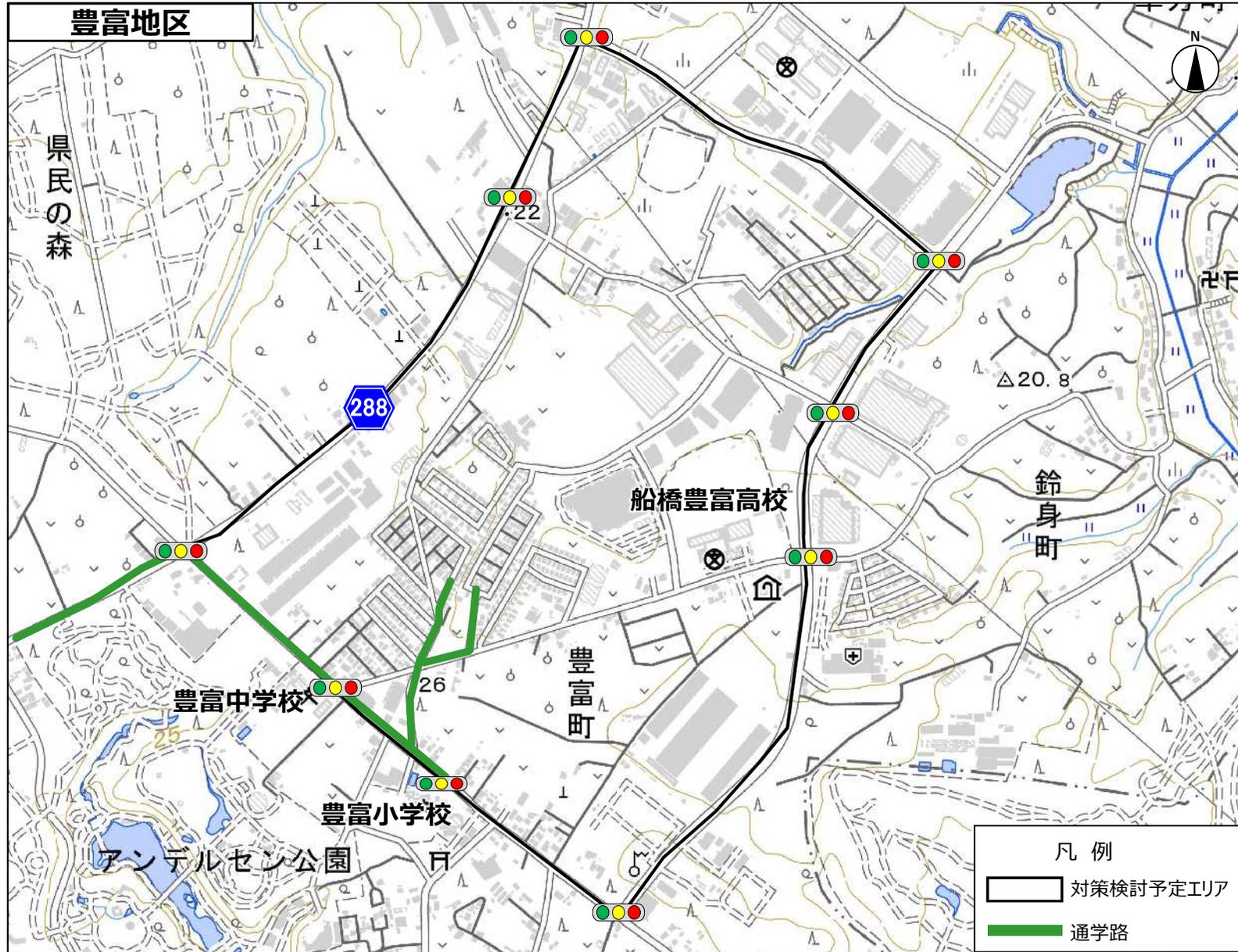
3. 豊富地区の検討結果 (1) 位置図



※背景地図の出典：国土地理院地図を加工して作成

3. 豊富地区の検討結果 (2) 通学路の指定状況

- 豊富地区は住宅や工業地であり、エリア周辺には小学校が立地し、学校指定の通学路がある。



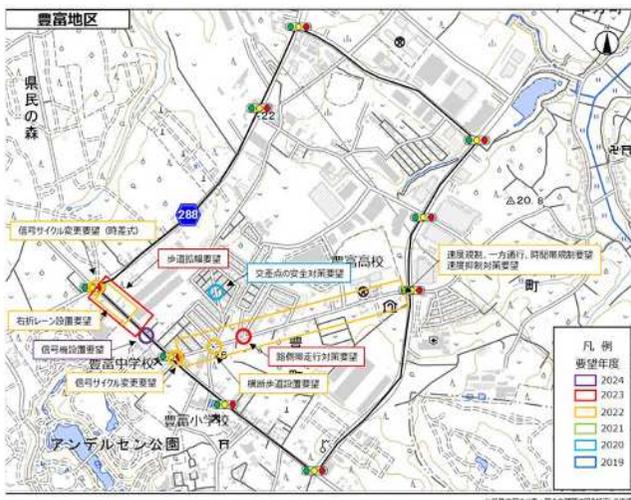
※背景地図の出典：国土地理院地図を加工して作成

3. 豊富地区の検討結果

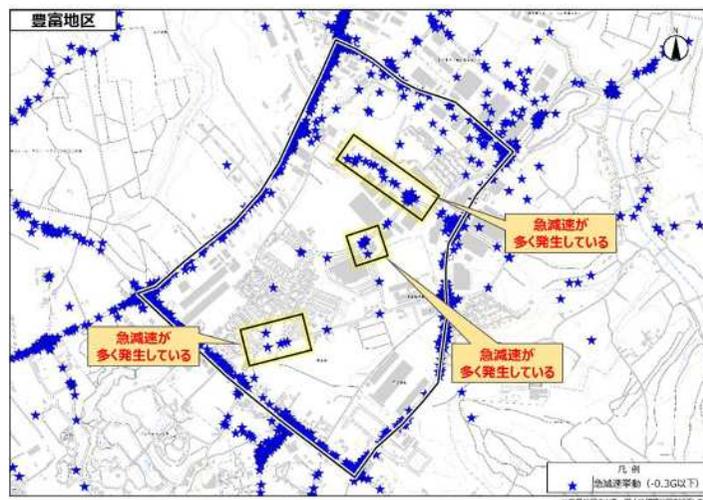
(3) エリア全体の現状把握

● 事故・ETC2.0プローブ・地元要望等からエリア内の現状把握を実施⇒エリア内の危険箇所・区間の把握。

● 地域要望



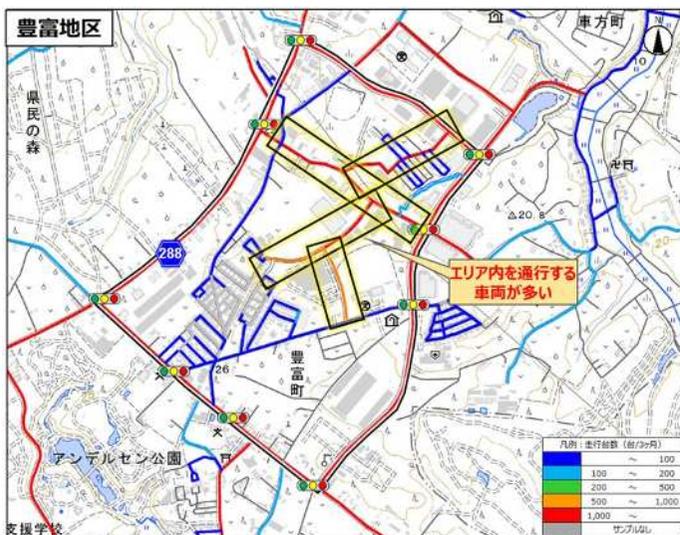
● 急減速発生状況



● 事故発生状況



● 走行台数



● 平均走行速度



● 30k/h以上の走行車両の割合



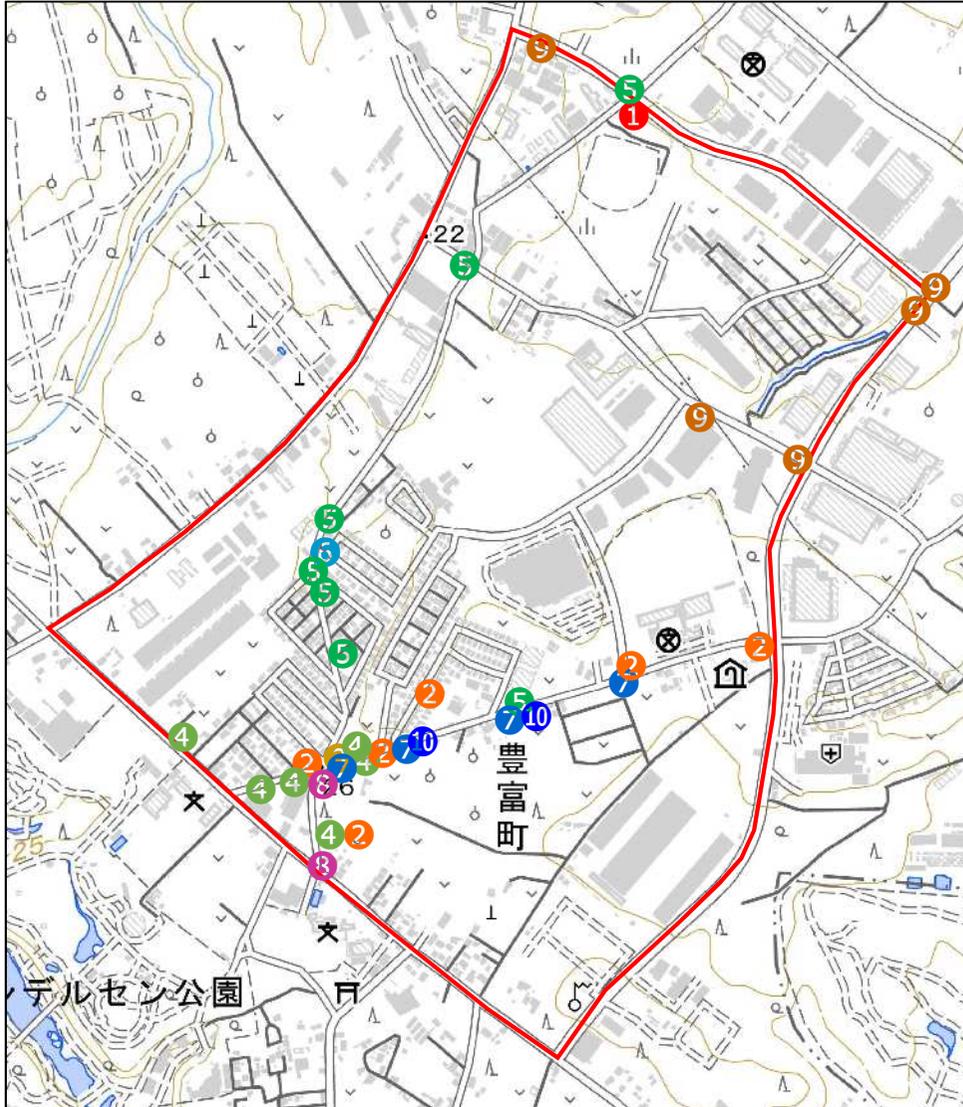
※出典: ETC2.0プローブデータ (走行履歴: 型式1-2, 型式1-4) の算出。
2023年9~11月の合計値
※掲載地図の出典: 国土地理院地図制作ソフト作成

※出典: ETC2.0プローブデータ (走行履歴: 型式1-2, 型式1-4) の算出。
2023年9~11月の合計値
※掲載地図の出典: 国土地理院地図制作ソフト作成

※出典: ETC2.0プローブデータ (走行履歴: 型式1-2, 型式1-4) の算出。
2023年9~11月の合計値
※掲載地図の出典: 国土地理院地図制作ソフト作成

3. 豊富地区の検討結果 (4) 対策の実施状況

● 豊富地区内には物理的デバイス（狭さく）が設置されている他、各種安全対策を実施している。

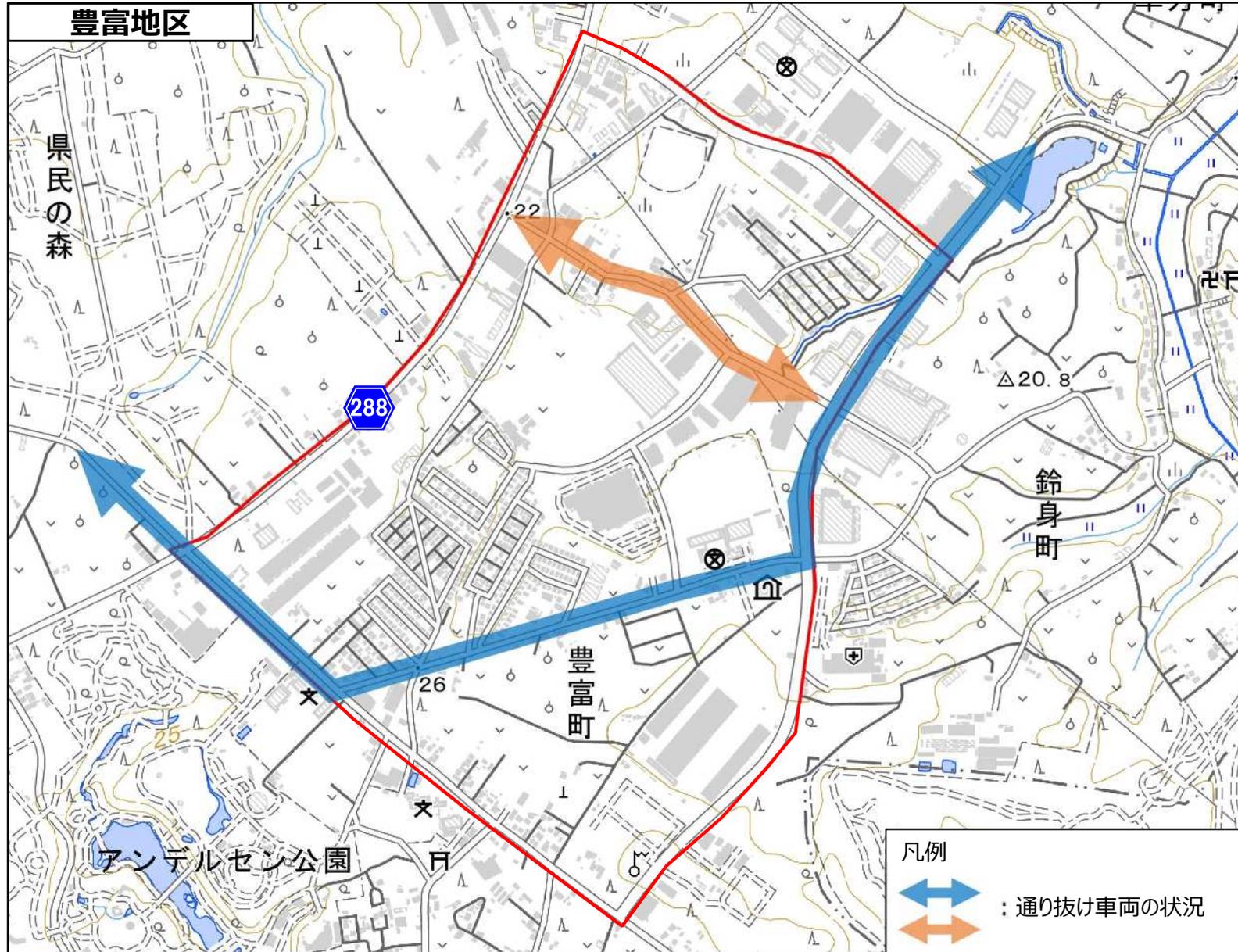


※背景地図の出典：国土地理院地図を加工して作成



3. 豊富地区の検討結果 (5) 通り抜けの状況

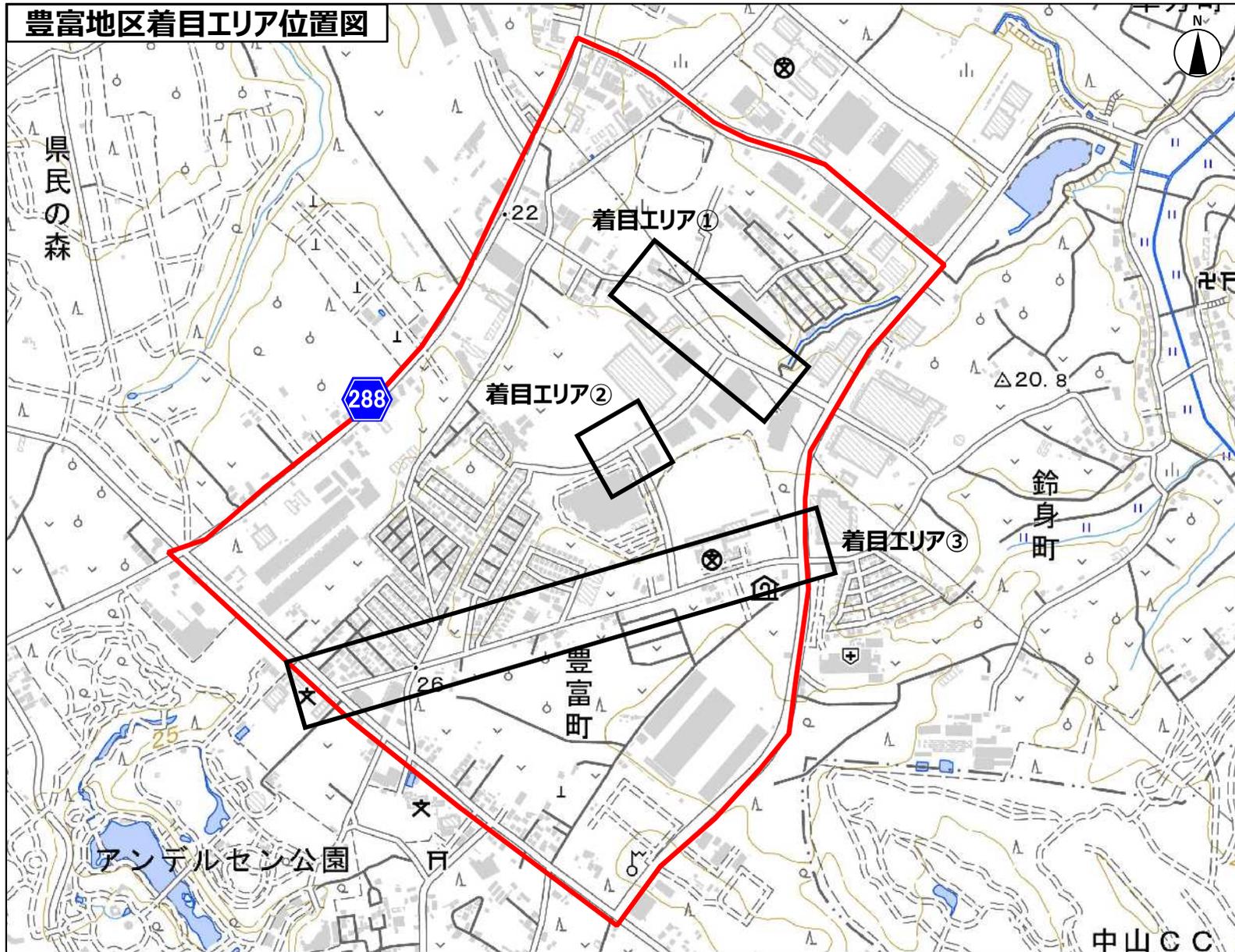
- 外周道路の渋滞を避けるためエリア内を通り抜けする車両が多く存在する。



※背景地図の出典：国土地理院地図を加工して作成

3. 豊富地区の検討結果 (6) 着目エリア

- 各種データ分析等から着目エリアを設定した。



※背景地図の出典：国土地理院地図を加工して作成

3. 豊富地区の検討結果 (7) 当該エリアの課題と対策のコンセプト

当該
エリア
の
課題

- 外周道路としての役割を担う**県道288号線（夏見小室線）**、**周辺市道において、一部区間で速度低下が発生。**
その渋滞を避けるために、**エリア内を抜け道利用している車が多く、事故や急減速が多発。**
- エリア周辺には**小学校があり**、交通安全に対するニーズが強いため、**対策要望が多く寄せられている。**
- 小学校の登下校時には通学路上の危険箇所において、**地域ボランティアによるスクールガードが見守り**をしているなど、**地域住民が交通安全に対して協力的な地域**である。



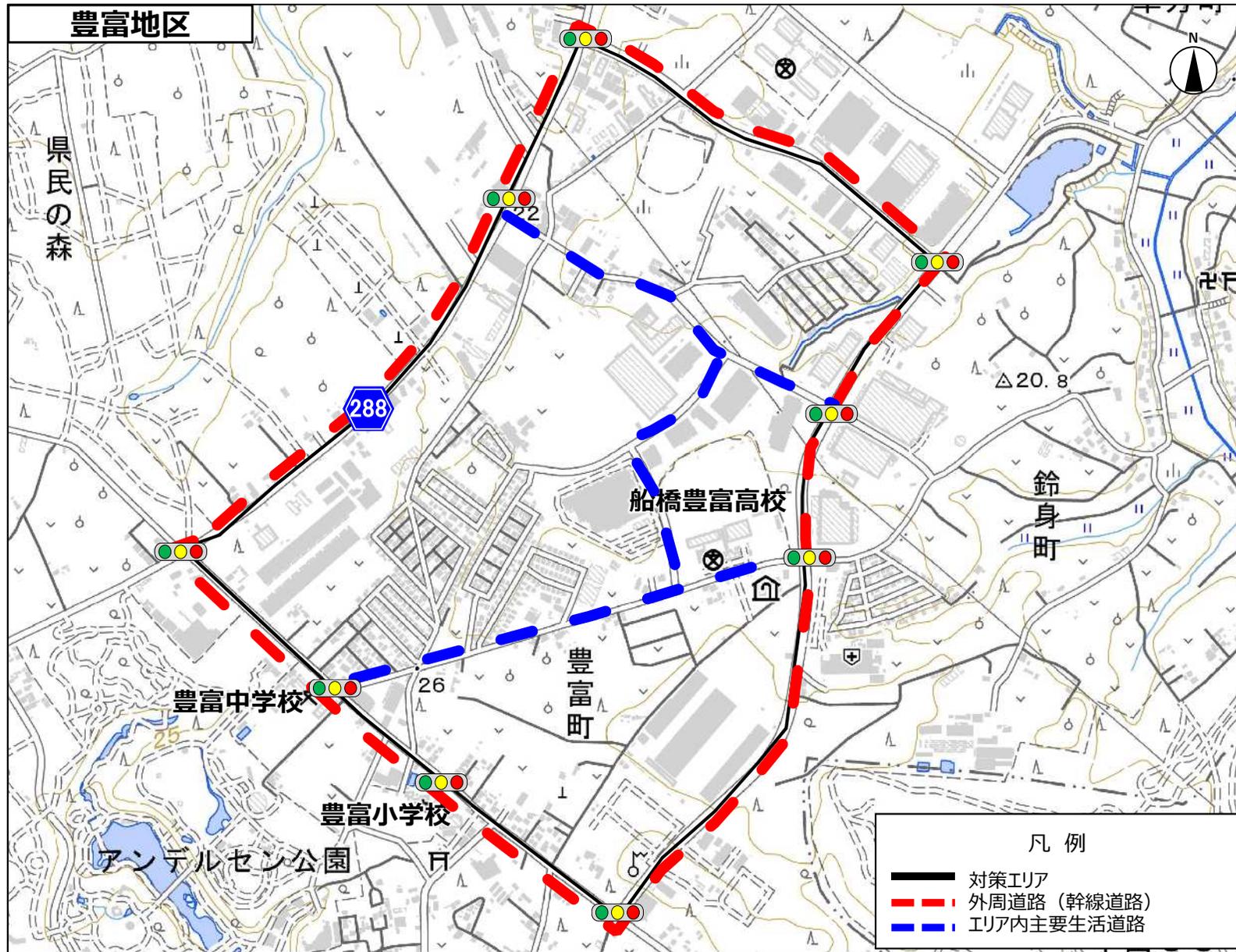
対応
方針

- ① **外周道路（幹線道路）** ※通過交通を通行させるための地域の主要骨格道路 : **速度低下区間における渋滞対策の推進。**
- ② **エリア内の主要生活道路** ※エリア内の住民が外周道路（幹線道路）にアクセスするための骨格道路 : **抜け道利用の多い区間を対象とした**速度抑止や注意喚起**に向けた対策の推進。**

分類	主な対策メニュー（案）
外周道路 (幹線道路)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 交通の円滑化に向けた検討
エリア内の 主要生活道路	<ul style="list-style-type: none"> ■ 物理的デバイス（入口狭さく 等） ■ 路面表示（カラー舗装、グリーンベルト 等） ■ 地域住民との連携の継続（スクールガードの継続 等）

3. 豊富地区の検討結果 (8) 対策のコンセプト (当初案)

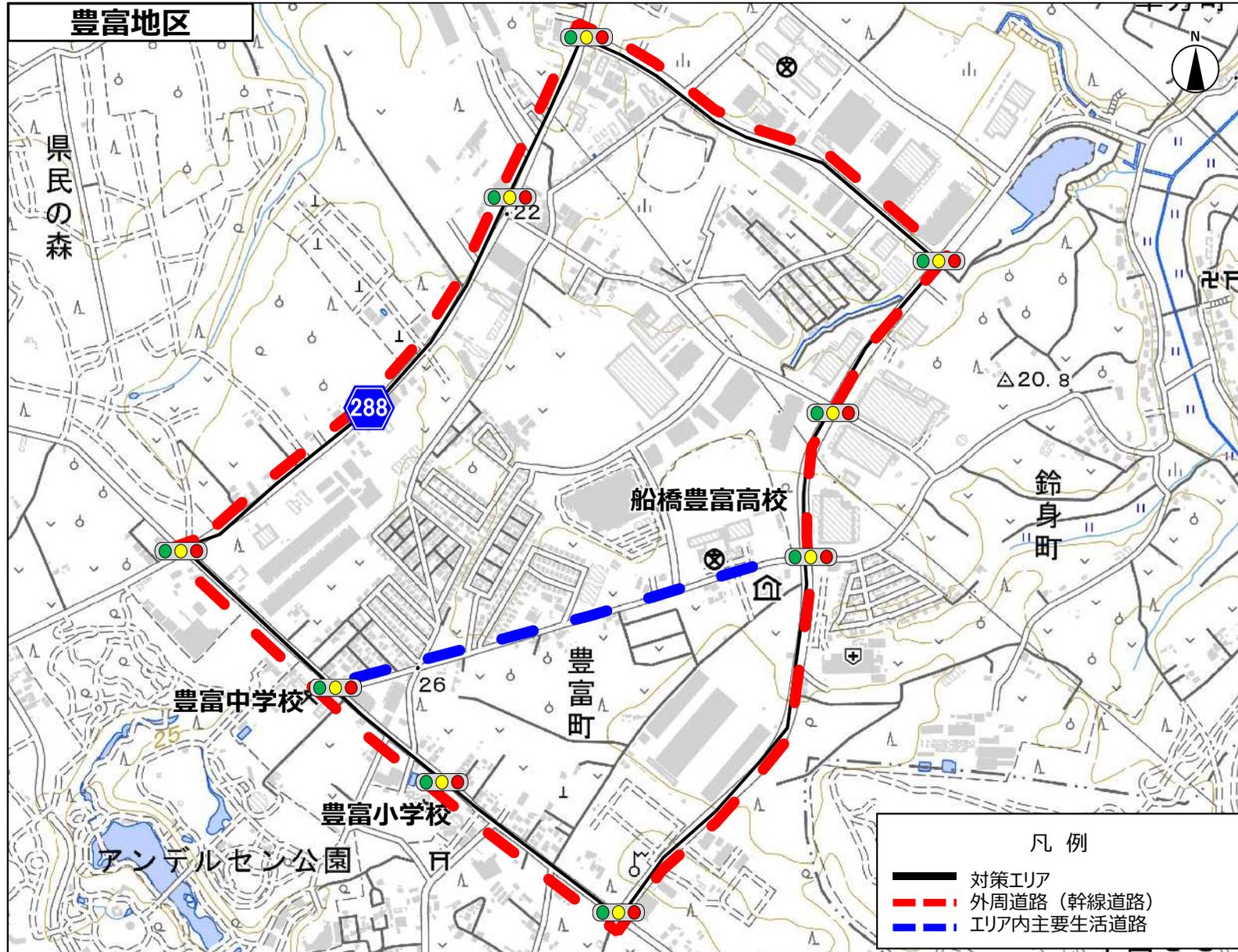
- エリア内の抜け道利用の多い区間を主要生活道路として設定した。



※背景地図の出典：国土地理院地図を加工して作成

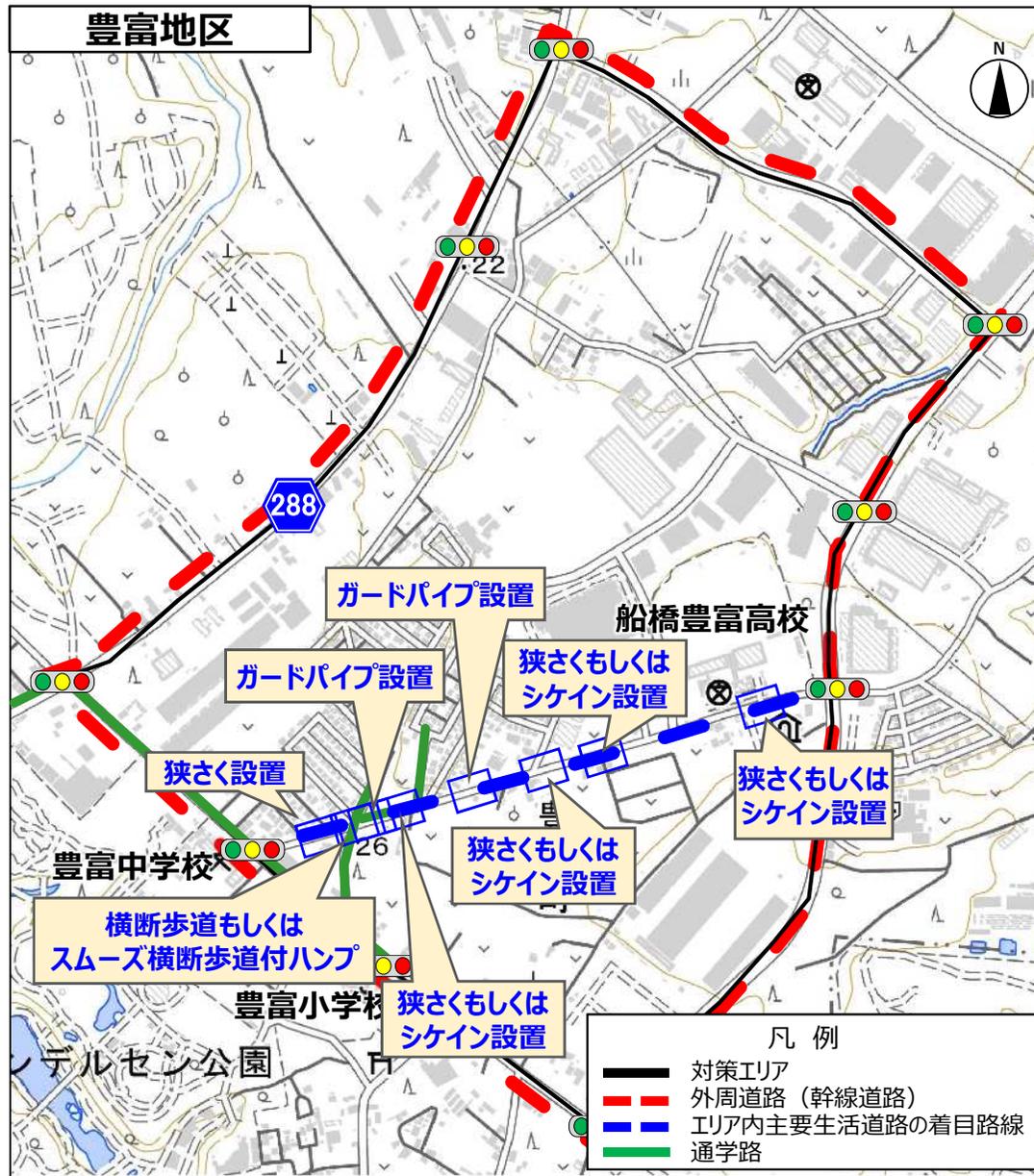
3. 豊富地区の検討結果 (8) 対策のコンセプト (最終案)

- 現地踏査の結果も踏まえて、主要生活道路の路線を再設定した。



※背景地図の出典：国土地理院地図を加工して作成

3. 豊富地区の検討結果 (9) 対策内容



【対策メニュー（案）】

分類	対策内容（案）
外周道路 (幹線道路)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 交通の円滑化に向けた検討 ■ 都市計画道路の整備促進
エリア内 主要生活道路 (補助幹線道路)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 物理的デバイス（入口狭さく等） ■ 路面表示（カラー舗装等）



- 本日の意見を踏まえて対策メニューの見直し
- 対策の具体化に向けた検討
⇒ 現地状況を踏まえた対策設計・関係機関との調整
- 地域との合意形成（住民説明会など）
⇒ 合意形成の図られた対策を実施

3. 豊富地区の検討結果 (10) 着目エリア③の現地状況

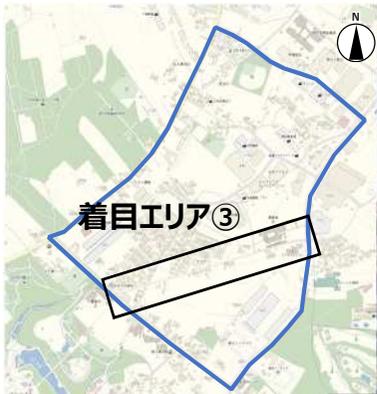
● 着目エリア③については、一部通学路であるが、抜け道利用の多い区間となっており、歩道未設置である。



3. 豊富地区の検討結果

(11) 着目エリア③の対策方針・対策案

●【着目エリア③（エリア内の主要生活道路）】エリア内の走行車両の速度抑制及び注意喚起



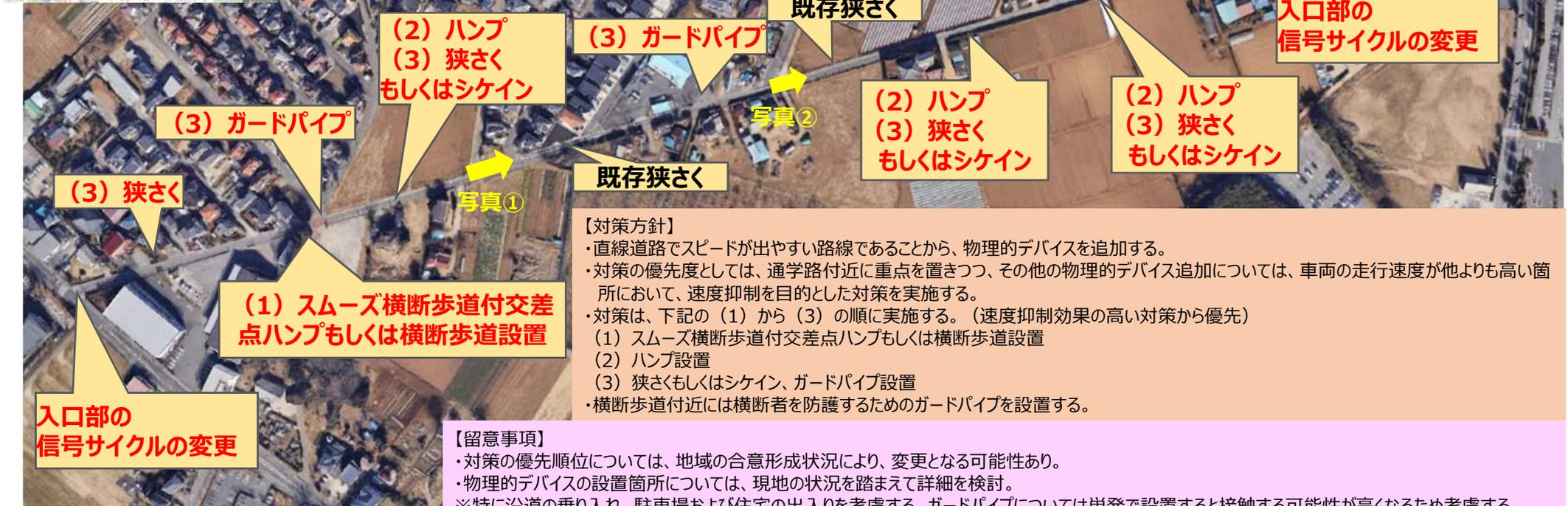
着目エリア③



写真①



写真②



既存狭さく

既存狭さく

入口部の信号サイクルの変更

入口部の信号サイクルの変更

(2) ハンプ
(3) 狭さく
もしくはシケイン

(3) ガードパイプ

(2) ハンプ
(3) 狭さく
もしくはシケイン

(2) ハンプ
(3) 狭さく
もしくはシケイン

(2) ハンプ
(3) 狭さく
もしくはシケイン

(3) 狭さく

(1) スムーズ横断歩道付交差点ハンプもしくは横断歩道設置

写真①

写真②

【対策方針】

- ・直線道路でスピードが出やすい路線であることから、物理的デバイスを追加する。
- ・対策の優先度としては、通学路付近に重点を置きつつ、その他の物理的デバイス追加については、車両の走行速度が他よりも高い箇所において、速度抑制を目的とした対策を実施する。
- ・対策は、下記の(1)から(3)の順に実施する。(速度抑制効果の高い対策から優先)
- (1) スムーズ横断歩道付交差点ハンプもしくは横断歩道設置
- (2) ハンプ設置
- (3) 狭さくもしくはシケイン、ガードパイプ設置
- ・横断歩道付近には横断者を防護するためのガードパイプを設置する。

【留意事項】

- ・対策の優先順位については、地域の合意形成状況により、変更となる可能性あり。
- ・物理的デバイスの設置箇所については、現地の状況を踏まえて詳細を検討。
- ※特に沿道の乗り入れ、駐車場および住宅の出入りを考慮する、ガードパイプについては単発で設置すると接触する可能性が高くなるため考慮する。
- ・入口部の信号サイクルを変更する際は、信号の出入口ごとに「対策重点エリア」や「社会実験中」といった看板を掲示し、注意喚起を徹底する。
- ※信号サイクルの変更を実施する際は、変更案の作成や需要率計算、隣接交差点に影響がないことの確認、関係機関との調整が必要である。

3. 豊富地区の検討結果

(11) 着目エリア③-1の対策方針・対策案

●【着目エリア③-1（エリア内の主要生活道路）】エリア内の走行車両の速度抑制及び注意喚起



狭さく設置イメージ



狭さく設置イメージ



シケイン設置イメージ



【留意事項】

- ・対策の優先順位については、地域の合意形成状況により、変更となる可能性あり。
- ・物理的デバイスの設置箇所については、現地の状況を踏まえて詳細を検討。
※特に沿道の乗り入れ、駐車場および住宅の出入りを考慮する、ガードパイプについては単発で設置すると接触する可能性が高くなるため考慮する。横断歩道付近には横断者を防護するためのガードパイプを設置。
- ・入口部の信号サイクルを変更する際は、信号の出入口ごとに「対策重点エリア」や「社会実験中」といった看板を掲示し、注意喚起を徹底する。
- ※信号サイクルの変更を実施する際は、変更案の作成や需要率計算、隣接交差点に影響がないことの確認、関係機関との調整が必要である。

3. 豊富地区の検討結果

(11) 着目エリア③-1 横断歩道設置要望箇所の対策案①

●【着目エリア③-1（エリア内の主要生活道路）】エリア内の走行車両の速度抑制及び注意喚起



【留意事項】

- ・対策の優先順位については、地域の合意形成状況により、変更となる可能性あり。
 - ・物理的デバイスの設置箇所については、現地の状況を踏まえて詳細を検討。
- ※特に沿道の乗り入れ、駐車場および住宅の出入りを考慮する、
ガードパイプについては単発で設置すると接触する可能性が高くなるため考慮する。
横断歩道付近には横断者を防護するためのガードパイプを設置。

3. 豊富地区の検討結果

(11) 着目エリア③-1 横断歩道設置要望箇所の対策案②

●【着目エリア③-1（エリア内の主要生活道路）】エリア内の走行車両の速度抑制及び注意喚起



【留意事項】

- ・対策の優先順位については、地域の合意形成状況により、変更となる可能性あり。
 - ・物理的デバイスの設置箇所については、現地の状況を踏まえて詳細を検討。
- ※特に沿道の乗り入れ、駐車場および住宅の出入りを考慮する、ガードパイプについては単発で設置すると接触する可能性が高くなるため考慮する。横断歩道付近には横断者を防護するためのガードパイプを設置。

3. 豊富地区の検討結果

(11) 着目エリア③-2の対策方針・対策案

●【着目エリア③-2（エリア内の主要生活道路）】エリア内の走行車両の速度抑制及び注意喚起



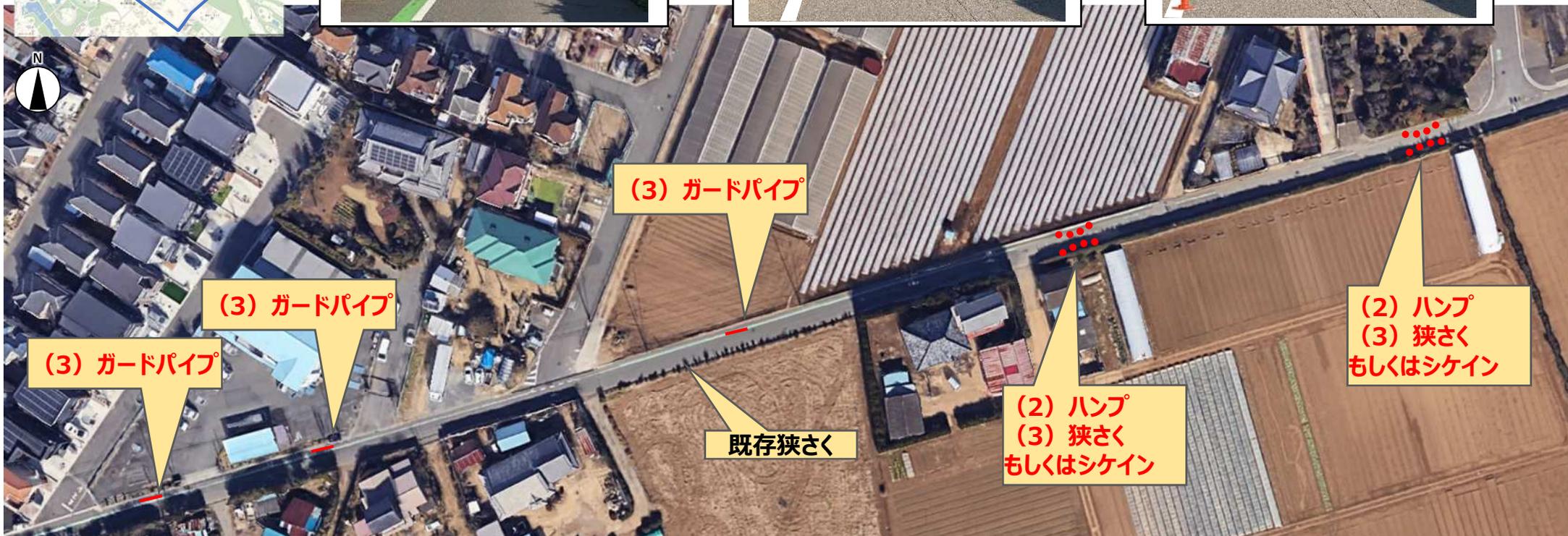
ガードパイプ設置イメージ



狭さく設置イメージ



シケイン設置イメージ



【留意事項】

- ・対策の優先順位については、地域の合意形成状況により、変更となる可能性あり。
- ・物理的デバイスの設置箇所については、現地の状況を踏まえて詳細を検討。

※特に沿道の乗り入れ、駐車場および住宅の出入りを考慮する、ガードパイプについては単発で設置すると接触する可能性が高くなるため考慮する。

3. 豊富地区の検討結果

(11) 着目エリア③-3の対策方針・対策案

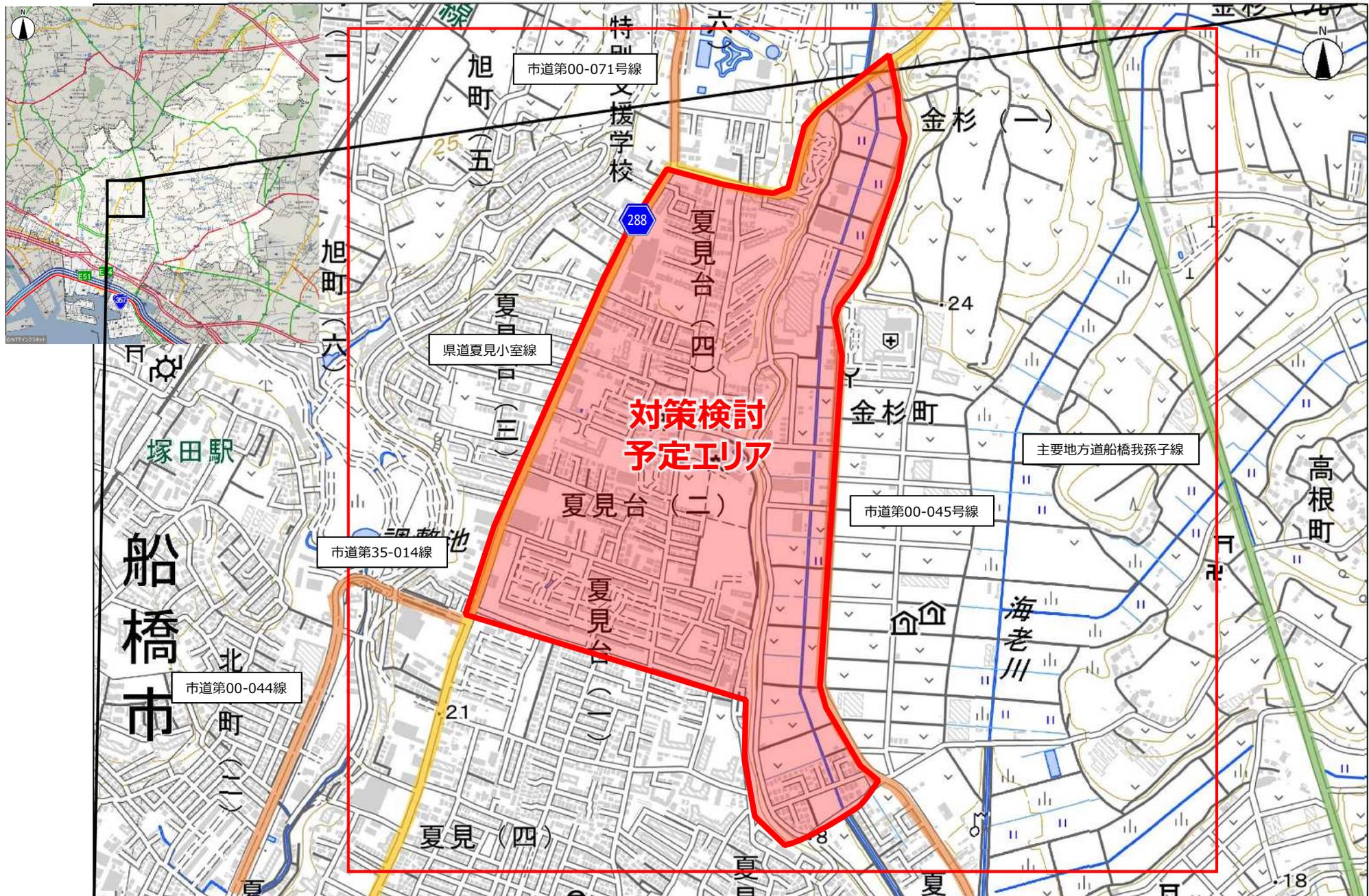
●【着目エリア③-3（エリア内の主要生活道路）】**エリア内の走行車両の速度抑制及び注意喚起**



【留意事項】

- ・対策の優先順位については、地域の合意形成状況により、変更となる可能性あり。
- ・物理的デバイスの設置箇所については、現地の状況を踏まえて詳細を検討。
※特に沿道の乗り入れ、駐車場および住宅の出入りを考慮する。
- ・入口部の信号サイクルを変更する際は、信号の出入口ごとに「対策重点エリア」や「社会実験中」といった看板を掲示し、注意喚起を徹底する。
※信号サイクルの変更を実施する際は、変更案の作成や需要率計算、隣接交差点に影響がないことの確認、関係機関との調整が必要である。

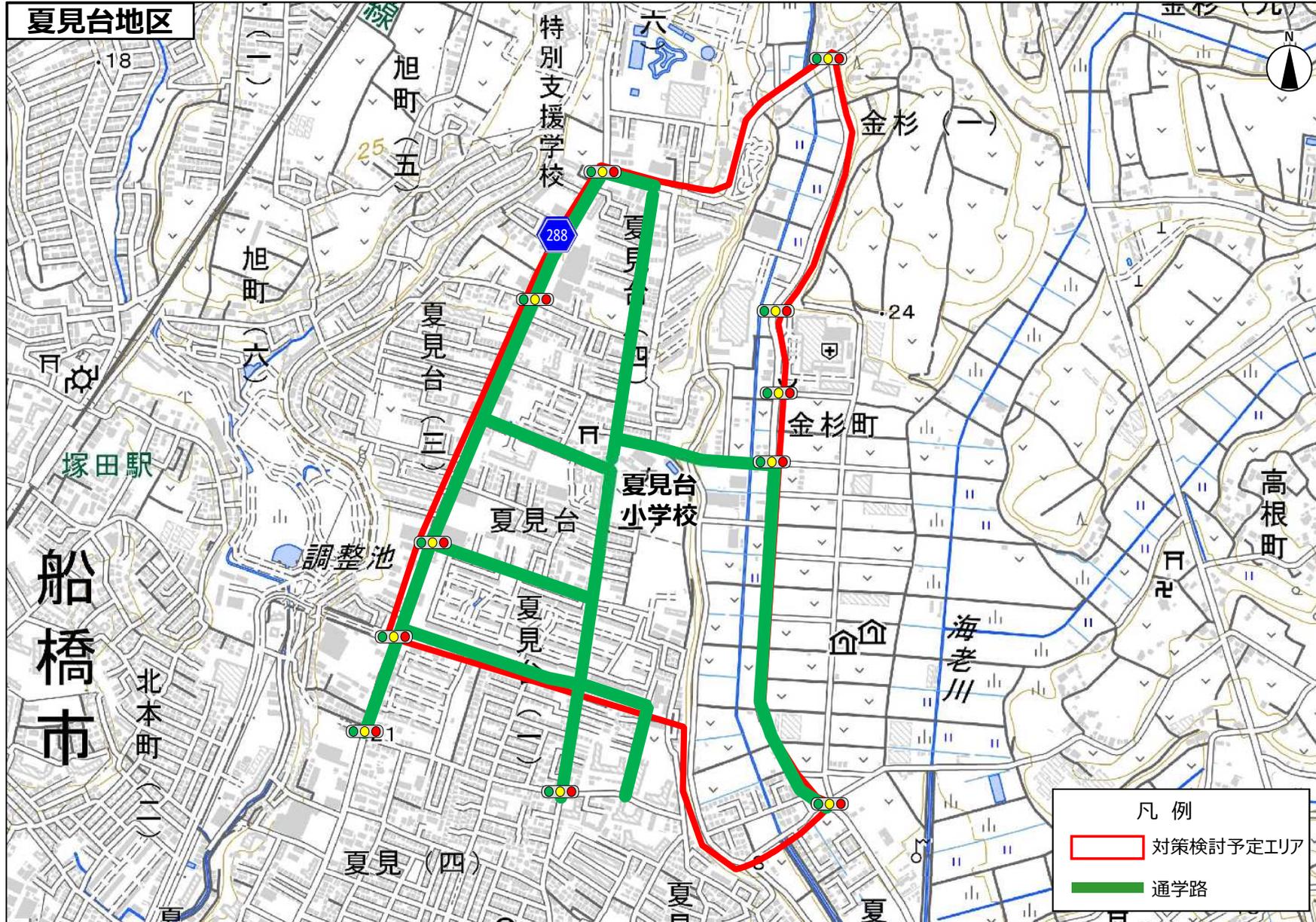
4. 夏見台地区の検討結果 (1) 位置図



※背景地図の出典：国土地理院地図を加工して作成

4. 夏見台地区の検討結果 (2) 通学路の指定状況

- 夏見台地区は住宅地であり、エリア内には小学校が立地し、学校指定の通学路がある。



※背景地図の出典：国土地理院地図を加工して作成

4. 夏見台地区の検討結果 (3) エリア全体の現状把握

● 事故・ETC2.0プローブ・地元要望等からエリア内の現状把握を実施⇒エリア内の危険箇所・区間の把握。

● 地域要望



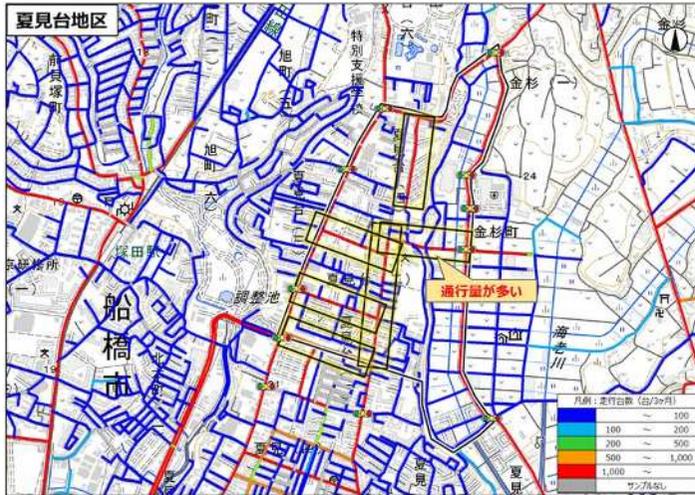
● 急減速発生状況



● 事故発生状況



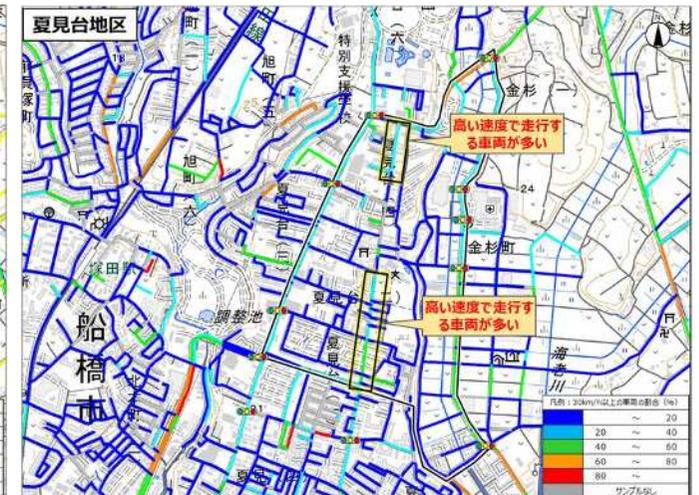
● 走行台数



● 平均走行速度

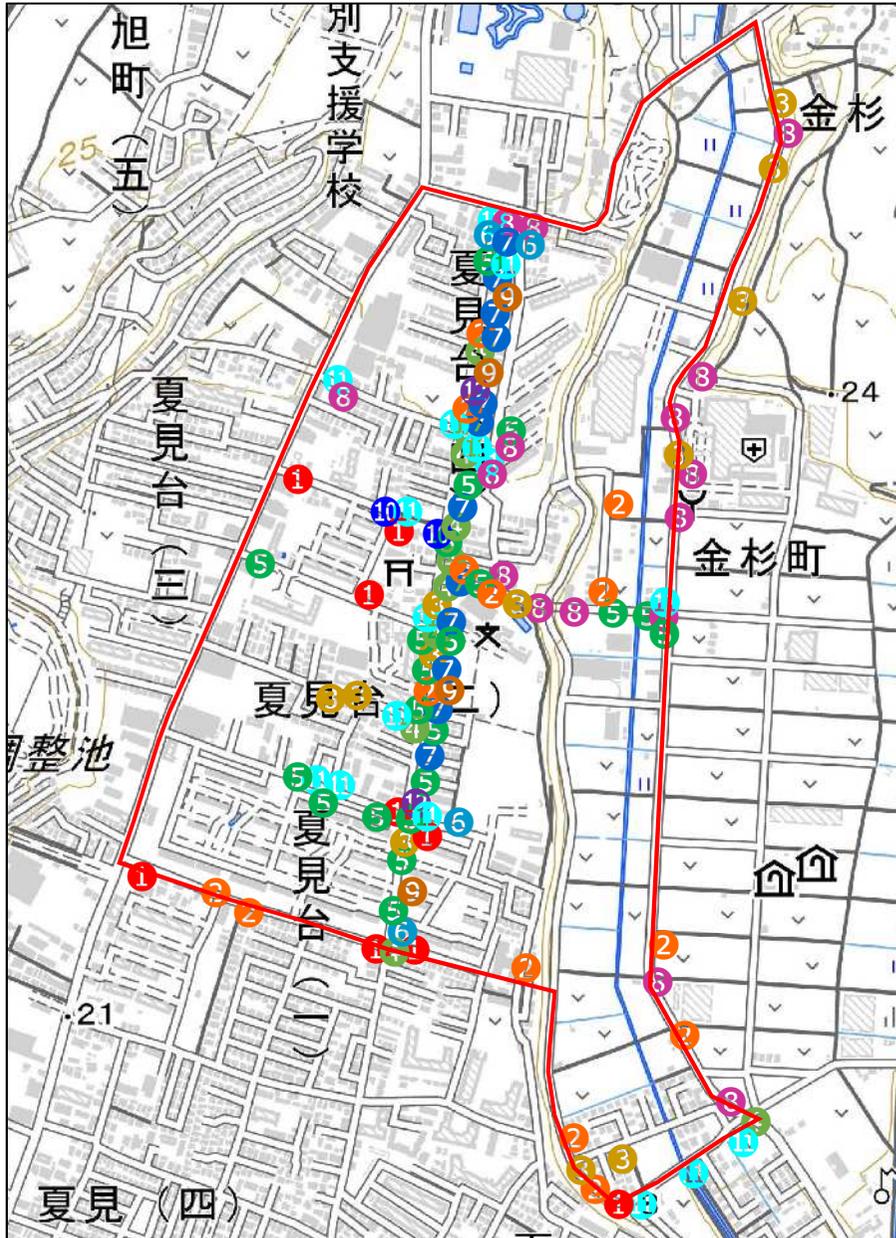


● 30km/h以上の走行車両の割合



4. 夏見台地区の検討結果 (4) 対策の実施状況

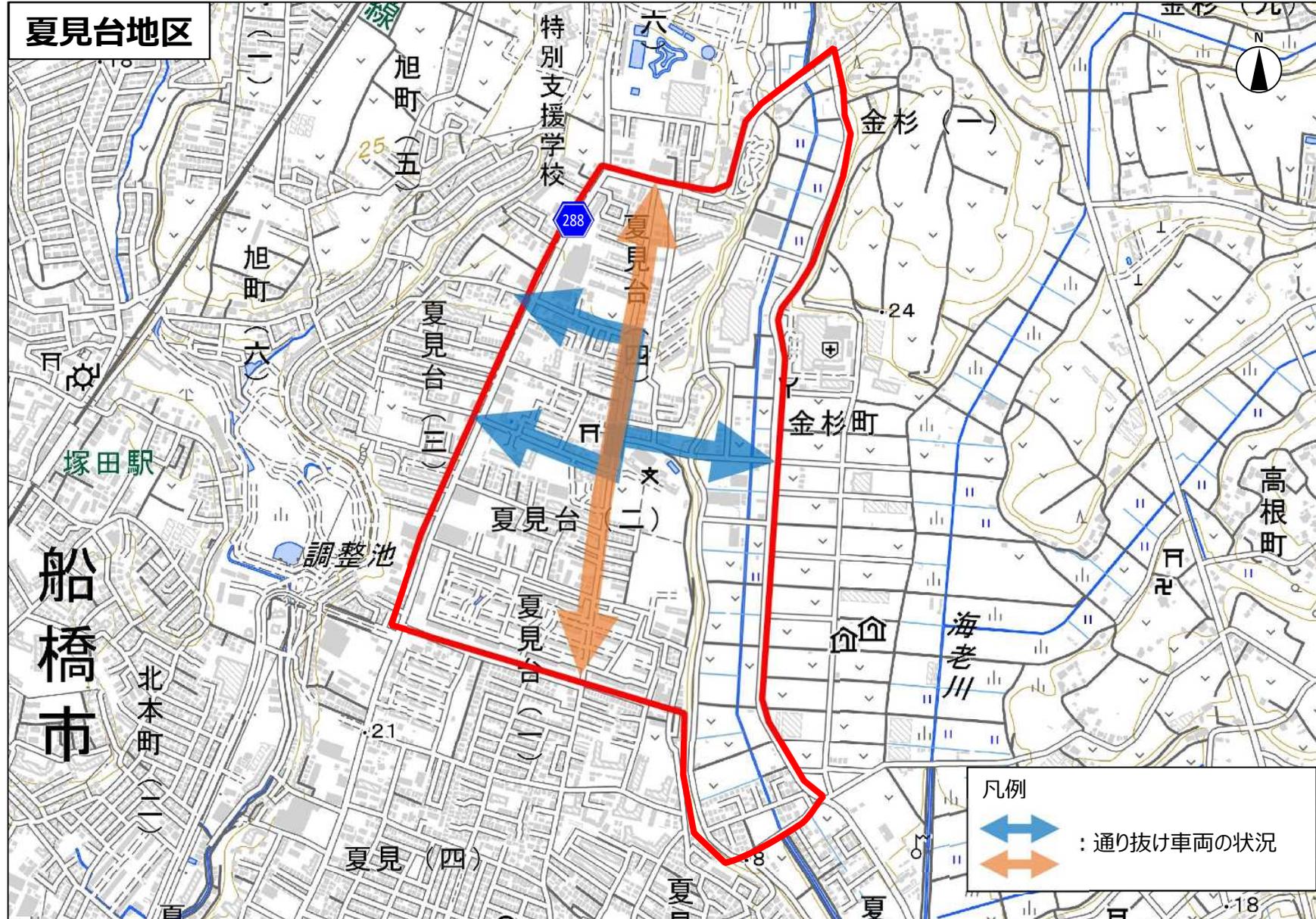
● 夏見台地区内には物理的デバイス（狭く）が設置されている他、各種安全対策を実施している。



※背景地図の出典：国土地理院地図を加工して作成

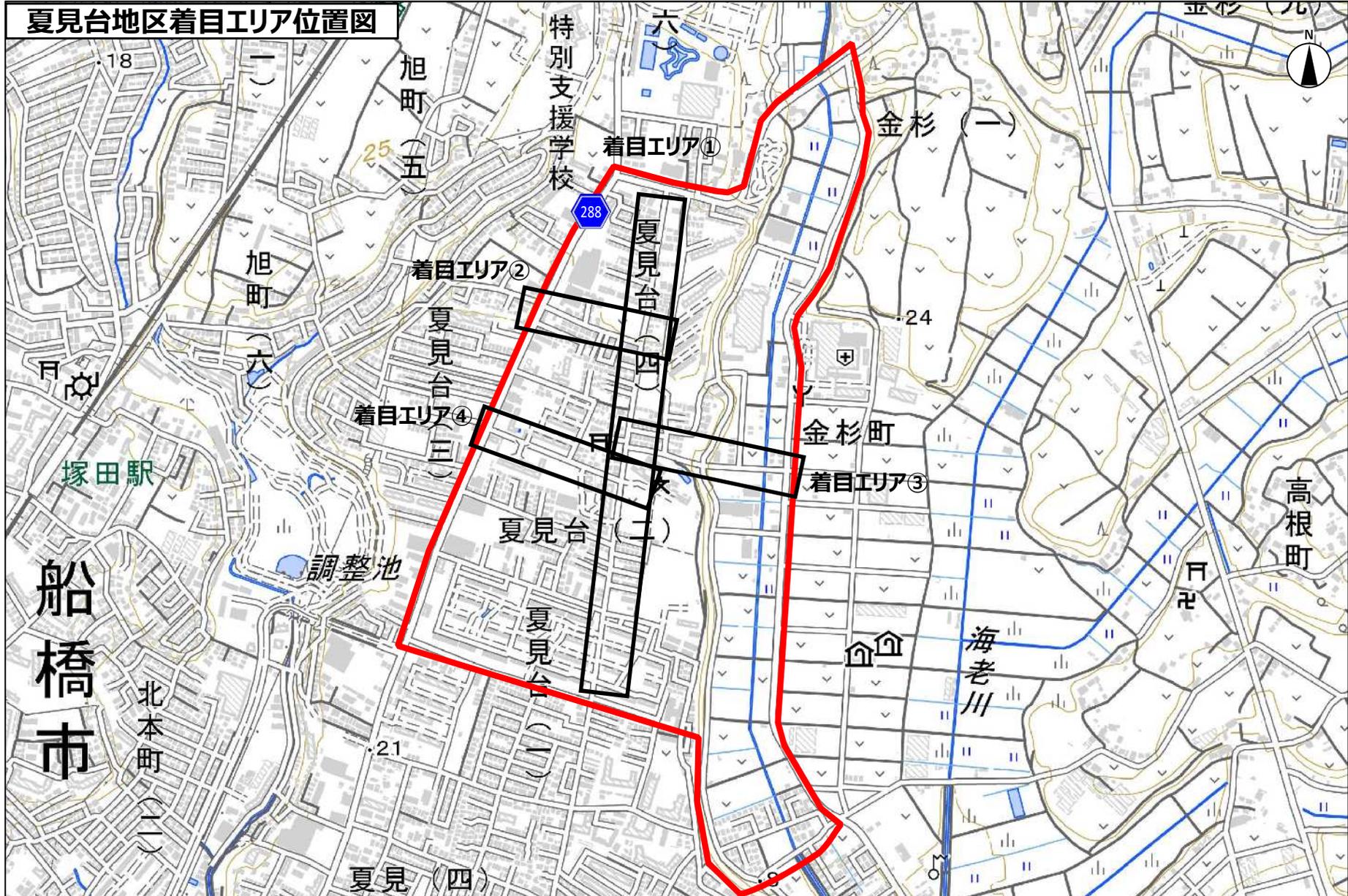
4. 夏見台地区の検討結果 (5) 通り抜けの状況

- 外周道路の渋滞を避けるためエリア内を通り抜けする車両が多く存在する。



4. 夏見台地区の検討結果 (6) 着目エリア

- 各種データ分析等から着目エリアを設定した。



※背景地図の出典：国土地理院地図を加工して作成

4. 夏見台地区の検討結果

(7) 当該エリアの課題と対策のコンセプト

当該エリアの課題

- 外周道路としての役割を担う**県道288号（夏見小室線）**において、**常時渋滞が発生**。
その渋滞を避けるために、**エリア内を抜け道利用している車が多く**、事故や急減速が多発。
- エリア内には**小学校があり**、自転車歩行者の利用も多く、交通安全に対するニーズが強いため、**対策要望が多く寄せられている**。
- 小学校の登下校時には通学路上の危険箇所において、**地域ボランティアによるスクールガードが見守り**をしているなど、**地域住民が交通安全に対して協力的な地域**である。



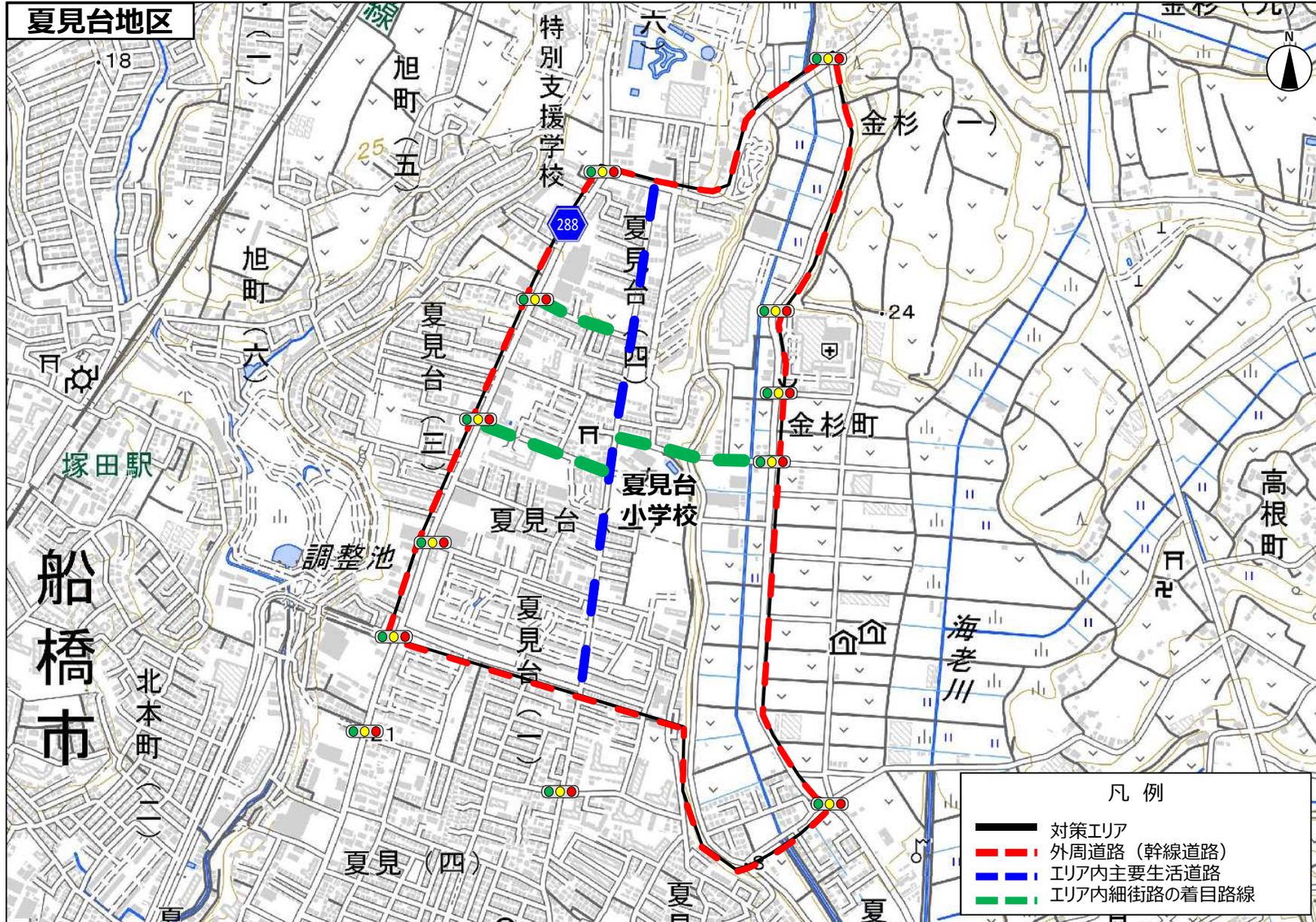
対応方針

- ① **外周道路（幹線道路）** ※通過交通を通行させるための地域の主要骨格道路 : **速度低下区間における渋滞対策の推進。**
- ② **エリア内の主要生活道路** ※エリア内の住民が外周道路（幹線道路）にアクセスするための骨格道路 : **抜け道利用の多い区間を対象とした**速度抑止や注意喚起**に向けた対策の推進。**
- ③ **エリア内の細街路** ※沿道住民の利用する道路（通過交通抑制道路）
自転車歩行者を優先させる道路 : **抜け道利用の多い区間を対象とした**エリア内の進入抑制**や**速度抑止や注意喚起**に向けた対策の推進。**

分類	主な対策メニュー（案）
外周道路 (幹線道路)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 交通の円滑化に向けた検討
エリア内の 主要生活道路	<ul style="list-style-type: none"> ■ 物理的デバイス（入口狭さく 等） ■ 路面表示（カラー舗装、グリーンベルト 等） ■ 地域住民との連携の継続（スクールガードの継続 等）
エリア内の 細街路	<ul style="list-style-type: none"> ■ 物理的デバイス（入口狭さく 等） ■ 路面表示（カラー舗装、グリーンベルト 等）

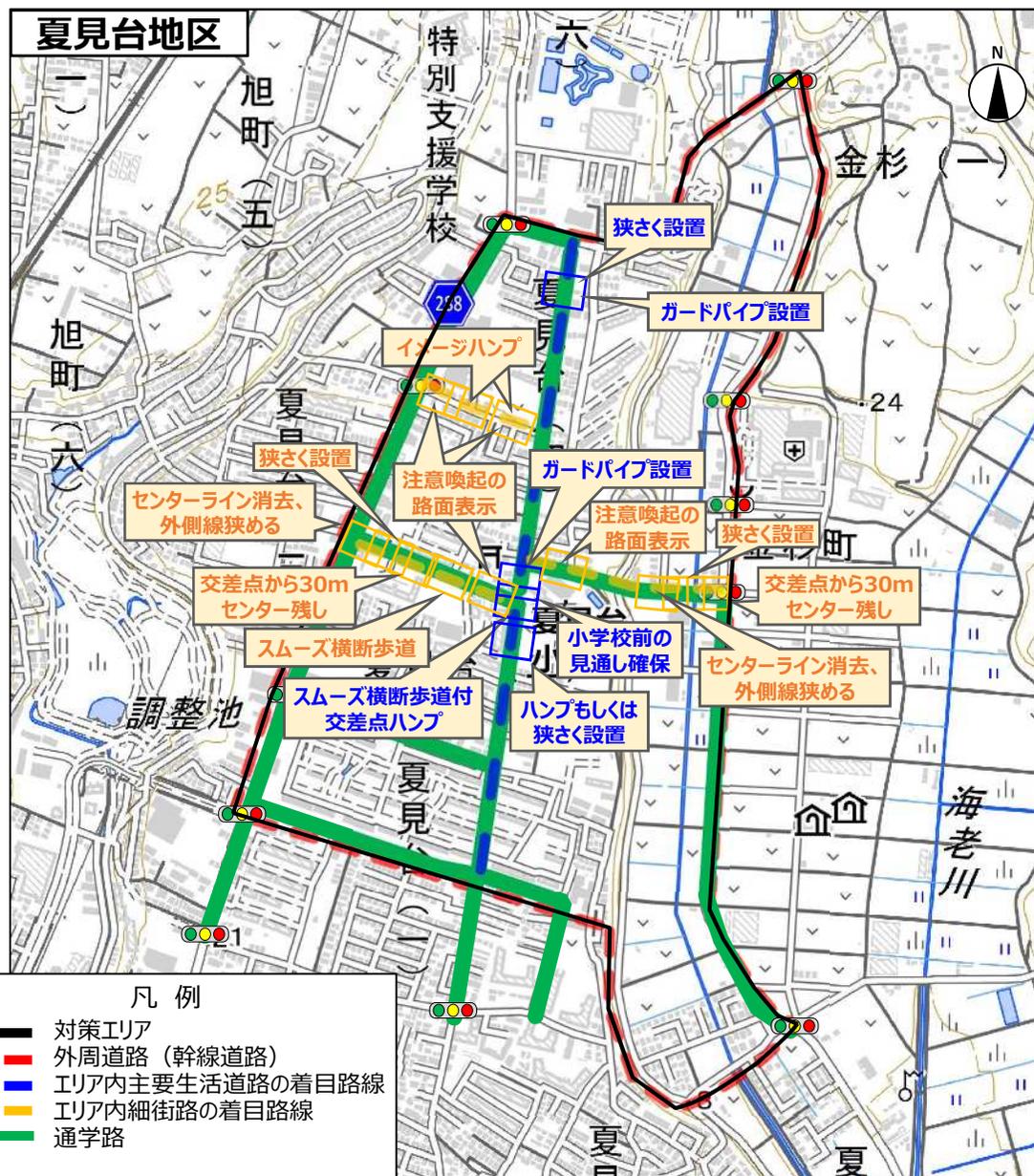
4. 夏見台地区の検討結果 (8) 対策のコンセプト

- エリア内の抜け道利用の多い区間について、路線の特性を踏まえて主要生活道路と細街路を設定した。



※背景地図の出典：国土地理院地図を加工して作成

4. 夏見台地区の検討結果 (9) 対策内容



※背景地図の出典：国土地理院地図を加工して作成

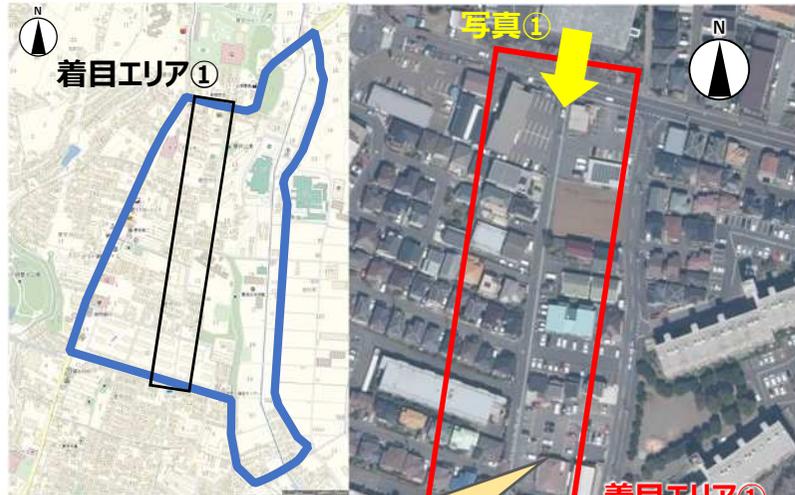
【対策メニュー (案)】

分類	対策内容 (案)
外周道路 (幹線道路)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 交通の円滑化に向けた検討 ■ 都市計画道路の整備促進
エリア内 主要生活道路 (補助幹線道路)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 物理的デバイス (入口狭さく等) ■ 路面表示 (カラー舗装、グリーンベルト 等)
エリア内の その他の生活道路 (区画街路)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 物理的デバイス (入口狭さく 等) ■ 路面表示 (カラー舗装、グリーンベルト 等) ■ 地域住民との連携 (スクールガードの継続 等)
エリア進入部	■ 「ゾーン30プラス」の路面表示と標識の設置

- 本日の意見を踏まえて対策メニューの見直し
- ↓
- 対策の具体化に向けた検討
⇒ 現地状況を踏まえた対策設計・関係機関との調整
- ↓
- 地域との合意形成 (住民説明会など)
⇒ 合意形成の図られた対策を実施

4. 夏見台地区の検討結果 (10) 着目エリア①の現地状況

- 着目エリア①については、通学路であり、抜け道利用が多い区間となっている。



4. 夏見台地区の検討結果

(11) 着目エリア①の対策方針・対策案

●【着目エリア①（エリア内主要生活道路）】走行車両の速度抑制及び注意喚起



【対策方針】

- ・直線道路でスピードが出やすい路線であることから、物理的デバイスを追加する。
- ・対策の優先度としては、小学校周辺の対策を主とし、その他の物理的デバイス追加については、車両の走行速度が他よりも高い箇所において、速度抑制を目的とした狭さくを設置する。

4. 夏見台地区の検討結果

(11) 着目エリア①-1の対策方針・対策案

- 【着目エリア①-1（エリア内主要生活道路）】走行車両の速度抑制及び注意喚起



【対策方針】

- ・直線道路でスピードが出やすい路線であることから、物理的デバイスを追加する。
- ・対策の優先度としては、小学校周辺の対策を主とし、その他の物理的デバイス追加については、車両の走行速度が他よりも高い箇所において、速度抑制を目的とした狭さくを設置する。

【留意事項】

物理的デバイスの設置箇所については、現地の状況を踏まえて詳細を検討する。

4. 夏見台地区の検討結果

(11) 着目エリア①-2の対策方針・対策案

●【着目エリア①-2（エリア内主要生活道路）】走行車両の速度抑制及び注意喚起



ハンプもしくは狭く設置イメージ



スムーズ横断歩道付交差点ハンプ設置イメージ



ガードパイプ設置イメージ



スムーズ横断歩道付
交差点ハンプ

ハンプもしくは
狭く設置

小学校前の
見通し確保

ガードパイプ設置

【対策方針】

- ・直線道路でスピードが出やすい路線であることから、物理的デバイスを追加する。
- ・対策の優先度としては、小学校周辺の対策を主とし、その他の物理的デバイス追加については、車両の走行速度が他よりも高い箇所において、速度抑制を目的とした狭くを設置する。

【留意事項】

物理的デバイスの設置箇所については、現地の状況を踏まえて詳細を検討する。

4. 夏見台地区の検討結果

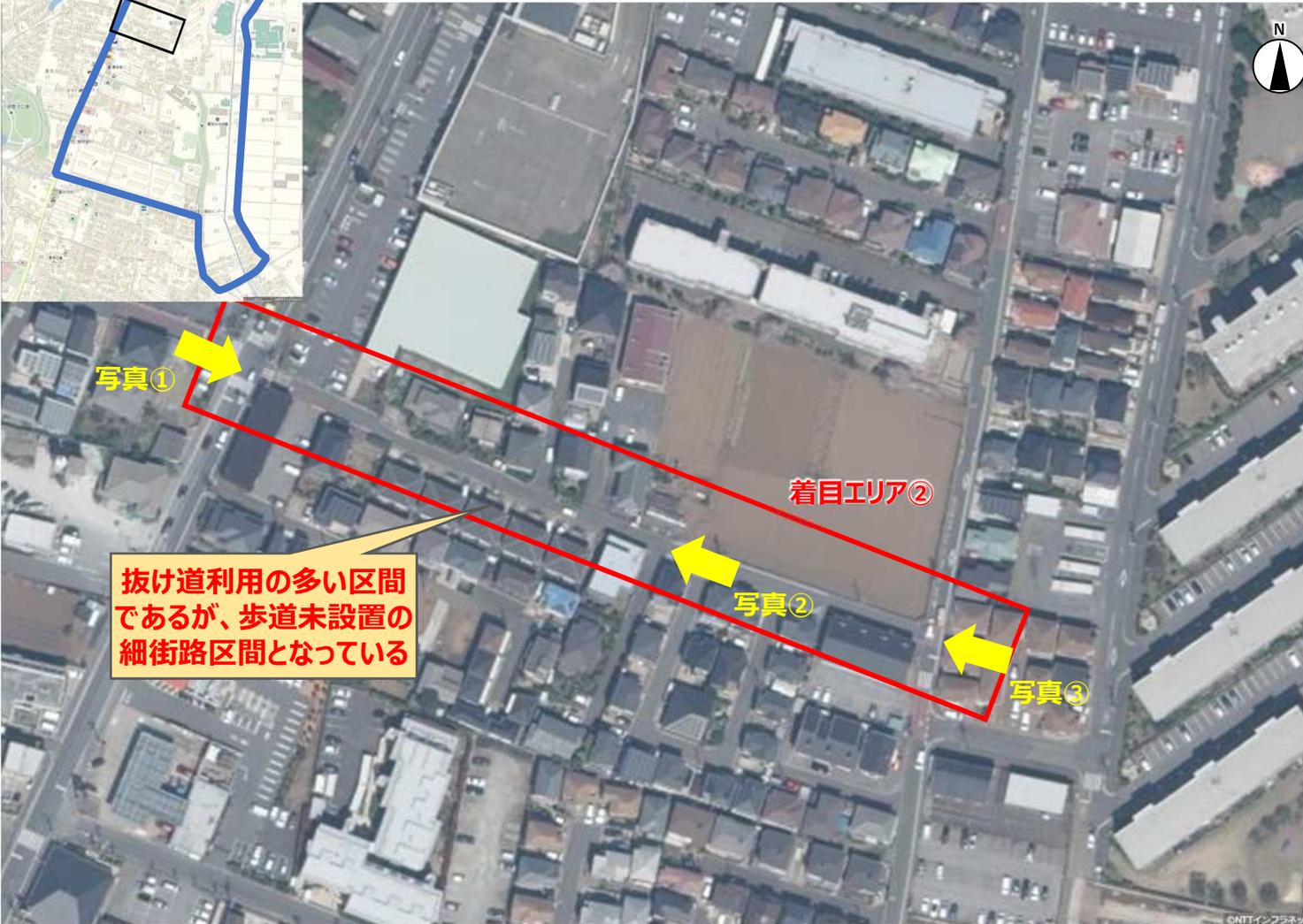
(11) 着目エリア①-3の対策方針・対策案

●【着目エリア①-3（エリア内主要生活道路）】走行車両の速度抑制及び注意喚起



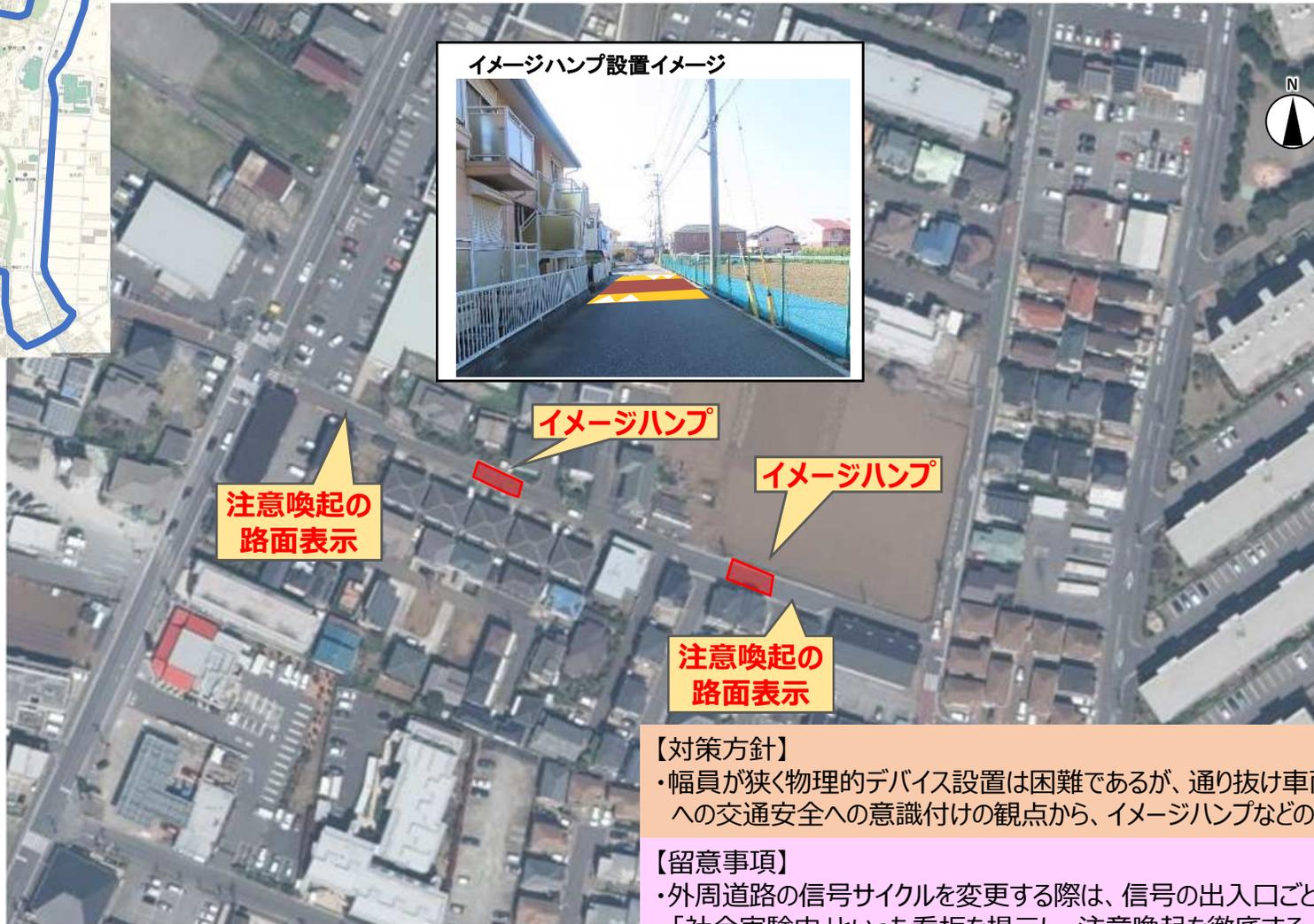
4. 夏見台地区の検討結果 (12) 着目エリア②の現地状況

● 着目エリア②については、抜け道利用が多い区間となっている。



4. 夏見台地区の検討結果 (13) 着目エリア②の対策方針・対策案

- 【着目エリア②（エリア内の細街路）】エリア内の進入抑制、走行車両の速度抑制及び注意喚起



【対策方針】

・幅員が狭く物理的デバイス設置は困難であるが、通り抜け車両が多いため、運転者への交通安全への意識付けの観点から、イメージハンプなどのソフト対策を検討する。

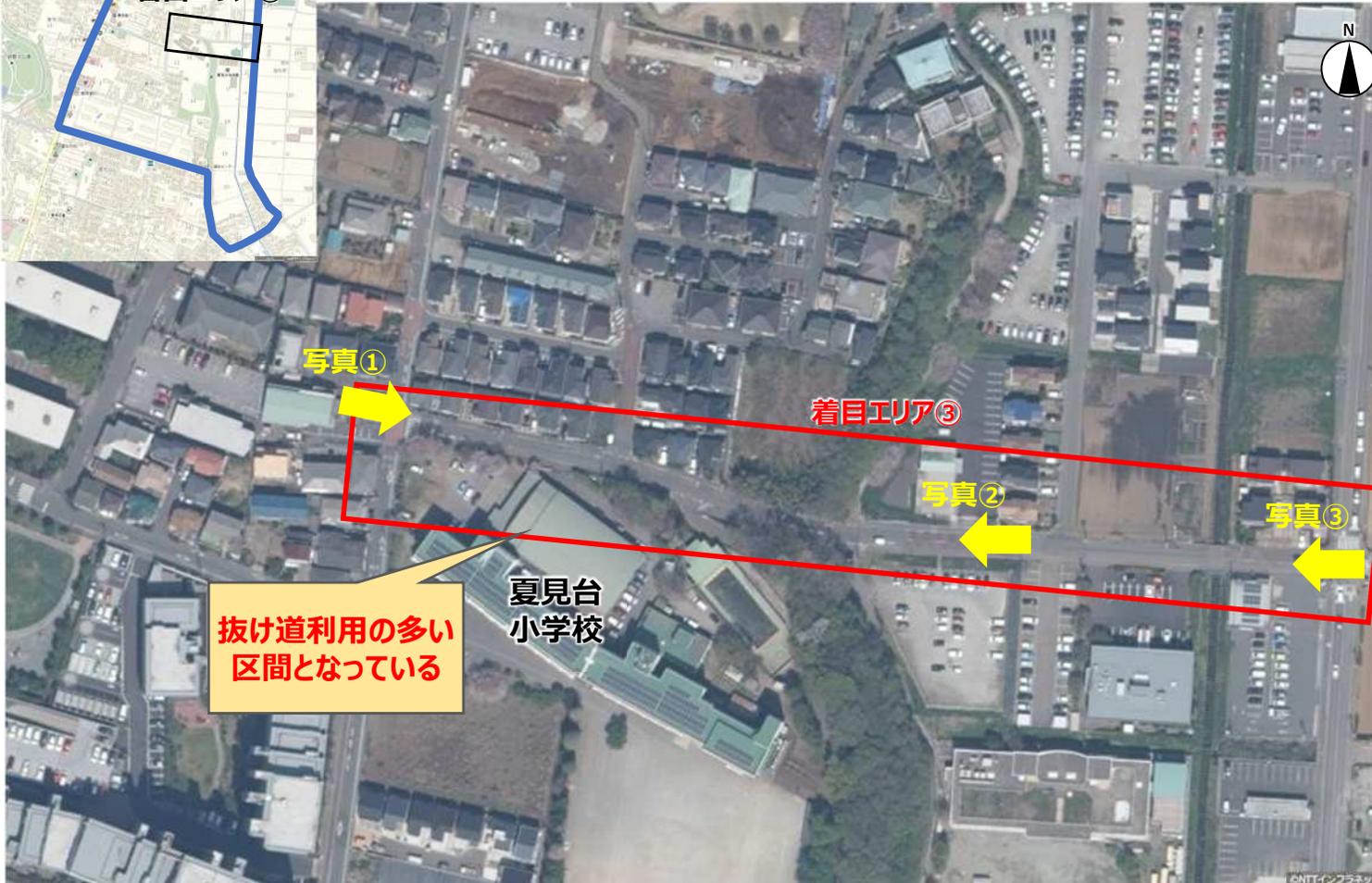
【留意事項】

・外周道路の信号サイクルを変更する際は、信号の出入口ごとに「対策重点エリア」や「社会実験中」といった看板を掲示し、注意喚起を徹底する。

※信号サイクルの変更を実施する際は、変更案の作成や需要率計算、隣接交差点に影響がないことの確認、関係機関との調整が必要である。

4. 夏見台地区の検討結果 (14) 着目エリア③の現地状況

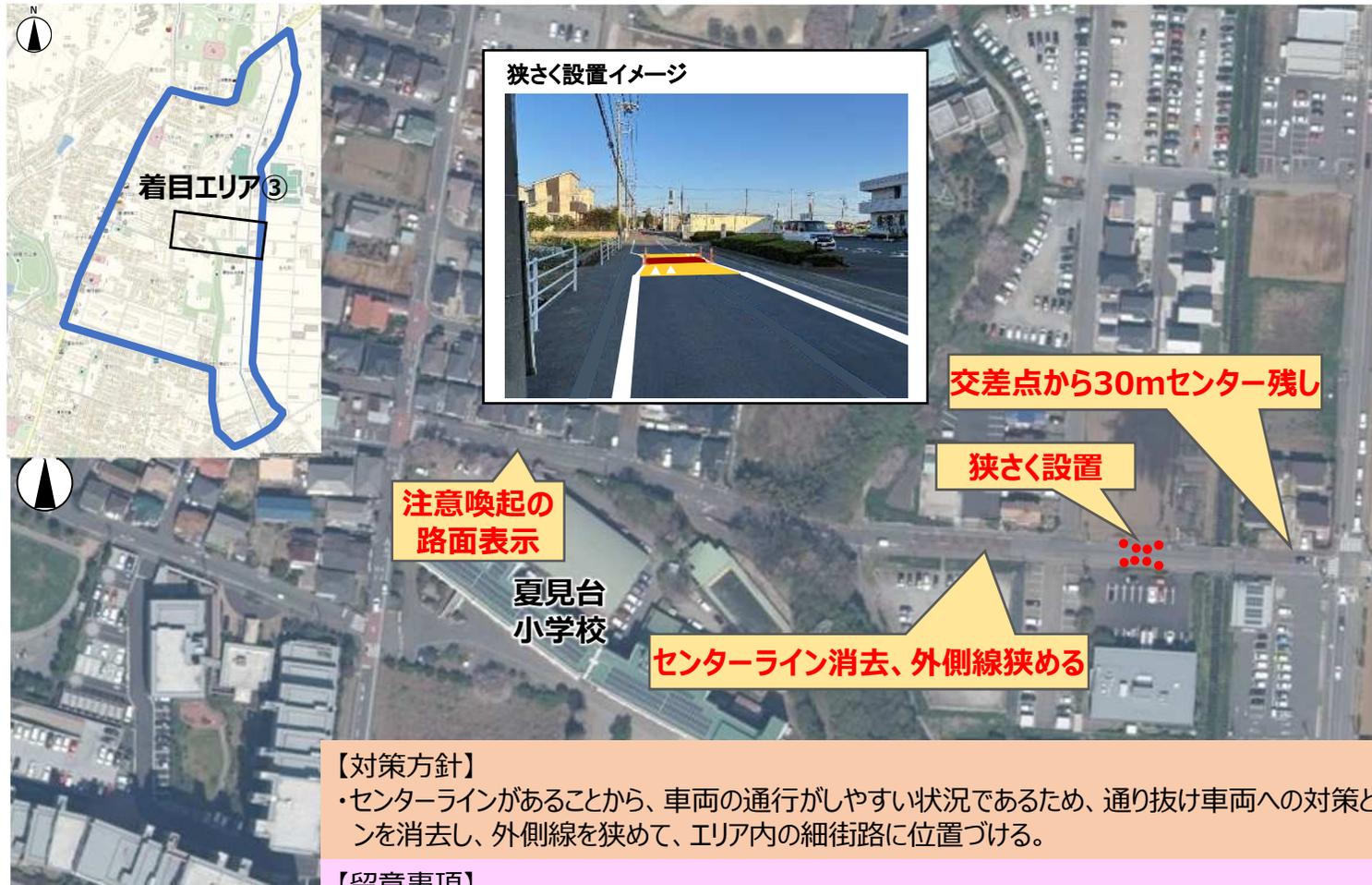
● 着目エリア③については、通学路であり、抜け道利用が多い区間となっている。



4. 夏見台地区の検討結果

(15) 着目エリア③の対策方針・対策案

- 【着目エリア③（エリア内の細街路）】エリア内の進入抑制、走行車両の速度抑制及び注意喚起



【対策方針】

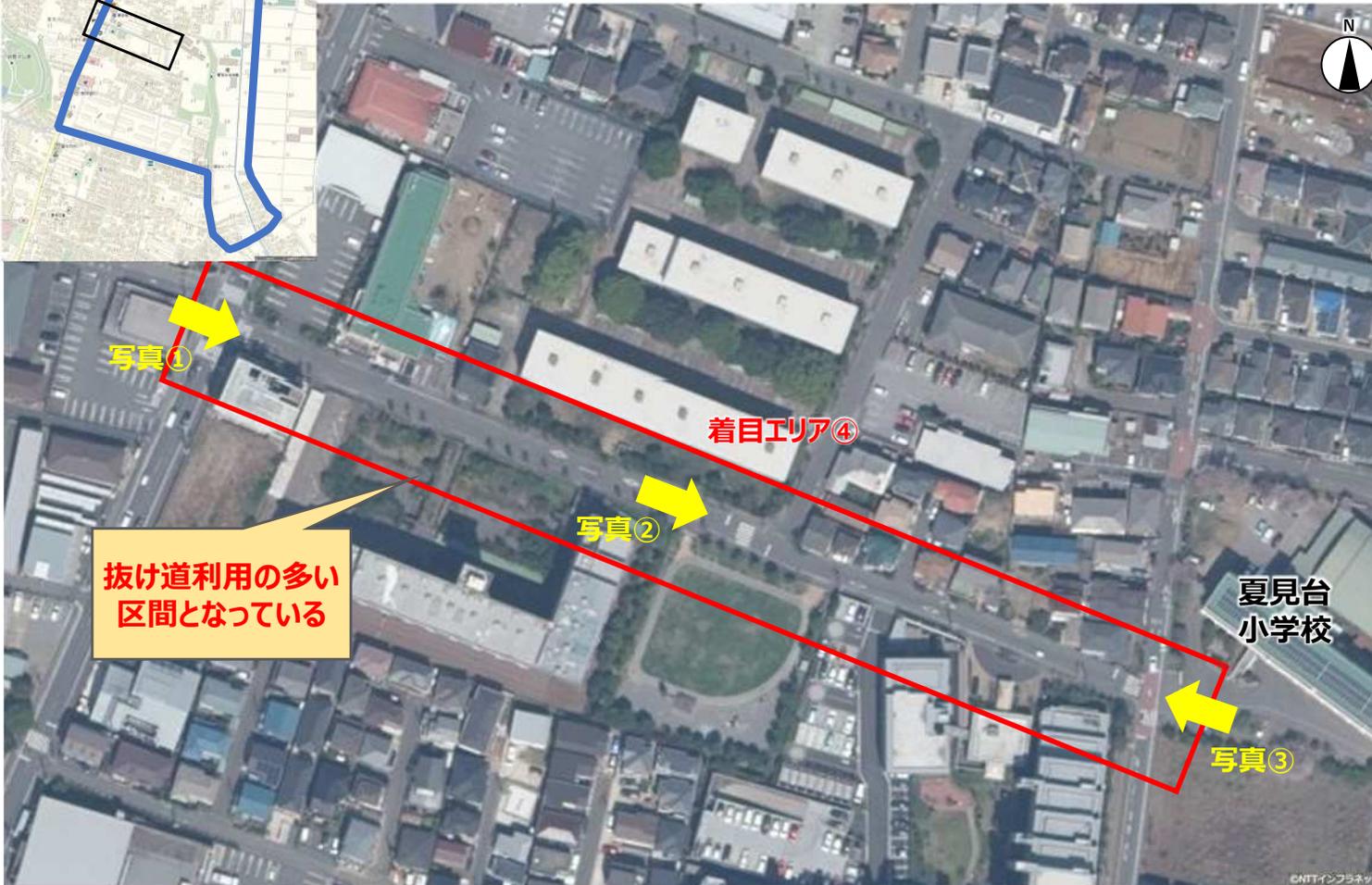
- ・センターラインがあることから、車両の通行がしやすい状況であるため、通り抜け車両への対策として、既存センターラインを消去し、外側線を狭めて、エリア内の細街路に位置づける。

【留意事項】

- ・エリア流出入口が信号交差点であるため、既存センターラインの消去箇所については、狭さく設置に伴う車両のすれ違い等を加味した上で、センターラインを残す長さを要検討。
 - ・外周道路の信号サイクルを変更する際は、信号の出入口ごとに「対策重点エリア」や「社会実験中」といった看板を掲示し、注意喚起を徹底する。
- ※信号サイクルの変更を実施する際は、変更案の作成や需要率計算、隣接交差点に影響がないことの確認、関係機関との調整が必要である。
- ・物理的デバイスの設置箇所については、現地の状況を踏まえて詳細を検討する。

4. 夏見台地区の検討結果 (16) 着目エリア④の現地状況

- 着目エリア④については、通学路であり、抜け道利用が多い区間となっている。



4. 夏見台地区の検討結果 (17) 着目エリア④の対策方針・対策案

- 【着目エリア④（エリア内の細街路）】エリア内の進入抑制、走行車両の速度抑制及び注意喚起



【対策方針】

- ・センターラインがあることから、車両の通行がしやすい状況であるため、通り抜け車両への対策として、既存センターラインを消去し、外側線を狭めて、エリア内の細街路に位置づける。

【留意事項】

- ・エリア流出入口が信号交差点であるため、既存センターラインの消去箇所については、狭さく設置に伴う車両のすれ違い等を加味した上で、センターラインを残す長さを要検討。
 - ・外周道路の信号サイクルを変更する際は、信号の出入口ごとに「対策重点エリア」や「社会実験中」といった看板を掲示し、注意喚起を徹底する。
- ※信号サイクルの変更を実施する際は、変更案の作成や需要率計算、隣接交差点に影響がないことの確認、関係機関との調整が必要である。
- ・物理的デバイスの設置箇所については、現地の状況を踏まえて詳細を検討する。